

資料2 環境基本計画における平成27年度の取り組み状況及び平成28年度の取り組み予定(詳細資料)				平成28年度第2回 東広島市環境審議会	
(1) 人との関わりが深い自然環境の保全					
【取り組みの方向性(目標)】					
①森林の保全 地域による森林整備の取り組み等により、水源かん養機能や景観維持等、森林が有する多様な環境機能の保全を目指します。					
②農地の保全 農地が農地として持続的に利用されるような取り組みにより、農地の多面的な環境機能(保水機能や生物の生息環境、田園景観の重要な構成要素等)の保全を目指します。					
③海の保全 水産資源の持続的な活用を図りながら、自然環境としての里海の保全を目指します。					

No.	区分	実施者等	平成27年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性	平成28年度 取り組み予定
1	市	【農業委員会】 農地パトロール(利用状況調査)事業	農地法に基づき全農地について利用状況調査を行った。		引き続き、全農地について利用状況調査を行うと共に遊休農地については利用意向調査を行う。 (1)利用状況調査の期間 平成28年7月～12月 (2)利用意向調査の期間 平成29年1月～2月
2		【農林水産課】 環境保全型農業直接支払対策事業 等	1 エコファーマー制度 H27年度新規認定件数:0件 対象面積:0a  2 環境保全型農業直接支払対策事業 H27年度交付金対象者数:9団体(28件) 対象面積:11,372a	引き続き事業を行い、環境に配慮した農業への取り組みを支援する。	1 エコファーマー制度 持続性の高い農業生産方式(たい肥等による土づくりと化学肥料、化学農薬の低減を一体的に行いながらも、生産量や品質は水準を維持し、より良い営農環境を保っていくための生産方式)の導入計画を作成した農業者を認定する。  2 環境保全型農業直接支払対策事業 エコファーマーで、地球温暖化防止活動等の環境保全効果の高い営農活動に取り組む農業者等又は有機農業者による販売を目的とした活動に対して支援する。
3		【農林水産課】 農林水産物販路拡大推進事業	1 推奨マーク使用者及び地産地消応援店の認定実績 平成27年度85店(者)(3/22時点)  2 インターネット販路拡大事業 H27年度交付金対象者数:2件  3 参加イベント一覧 (1)春の園芸まつり2015(園芸センター) 5月2日(土)5月3日(日) (2)黒瀬ふれあい夏祭り(黒瀬生涯学習センター周辺) 7月25日(土) (3)河内リバーサイドフェスティバル(棕梨川河川敷) 7月26日(日) (4)どまんなか豊栄ヘソまつり(豊栄ふれあいグラウンド) 8月1日(土) (5)アクアフェスタin福富(道の駅湖畔の里福富) 10月3日(土)10月4日(日) (6)ひろしまフードフェスティバル(広島城周辺、広島中央公園) 10月17日(土)10月18日(日) (7)広島大学ホームカミングデー(広島大学東広島キャンパス) 11月7日(土) (8)火とグルメの祭典あきつフェスティバル(安芸津市民グラウンド) 11月14日(土)11月15日(日) (9)第14回ビジネスフェア中四国2016(広島市中小企業会館総合展示館) 2月5日(金)2月6日(土) (10)春の西条醸華町まつり(JR西条駅周辺) 3月5日(土)	引き続き事業を行い、農業者の所得向上に繋がる取り組みを行う。	1 東広島ブランド推奨マーク(ゆめまる)による地産地消の推進及び販路拡大を行う。  2 インターネットを活用した農林水産物の販路拡大事業とイベント参加による地産地消の推進を行う。  3 スーパーでの東広島産農林水産物のPR及び販路拡大を行う。
4		<H27新規> 【農林水産課】 間伐材等利用可能性調査業務	1 取組内容 木質バイオマス利活用動向、本市における資源量・燃料化可能性及び今後の課題と対策のについて、「東広島市木質バイオマス利活用可能性調査」として業務委託により実施した。 (平成27年12月4日～平成28年3月31日) 業務委託費:3,564,000円  2 調査結果概要 (1)課題 ①山林所有者の意識低下 ②利用間伐が行われていない ③市内に木材の安定した需要先が確保されていない  (2)対策 ①山林所有者の意識改革 ②森林経営計画と特定間伐などの促進計画の推進 ③市民が未利用材を収集できる仕組みづくり ④バイオマス材の活用の体制を構築	森林の多面的機能の発揮や林業の持続的かつ健全な発展を図るため、間伐等の生産コストを減らし、自主的な林業経営を目指すため、林道や作業道等のインフラ整備と、間伐の実施等に伴う財政的な支援が必要である。 今後も、造林事業やひろしまの森づくり事業、林道整備事業等を継続して行うことで、林地残材の活用を検討していく必要がある。	1 取組方針 「間伐材等利用可能性調査」の結果を活用し、同年度から実施している自伐林家養成研修、関連機械整備等とともに、間伐材等の林地残材をバイオマス資源として活用した循環型社会の形成を図る。 (森林所有者自らが伐採、搬出、出荷する「自伐林家」の養成とともに、搬出された木材等を利活用するためのシステム構築を図るため、モデル的な実証試験を行う。)  2 実施内容等 (1)自伐林家養成研修 林業専門の業者に委託し、研修業務を行う。 (2)木質バイオマス活用システム構築実証実験 市内において、森林組合と企業が里山再生モデル事業を行っており、その一環として木の駅プロジェクトも計画されている。 そこで、試験的に一部実証試験として木の集積と間伐材等のペレット化や堆肥化を行い、環境先進都市ビジョンのWプロジェクトで協議して、木質バイオマス資源活用のシステム構築を図る。
5		【農林水産課】 中山間地域等直接支払交付金	集落・個別協定に基づき、農業生産活動を行う組織等へ支援を行った。 (1)協定締結数:117協定(内訳:集落協定109、個別協定8) (2)協定農用地面積:1,837ha	関係機関との連携を図りながら事業を推進するとともに、他事業と重複しないよう指導・確認を実施する必要がある。	集落・個別協定に基づき、農業生産活動を行う組織等へ引き続き支援を行う。 (1)協定予定数:117協定(内訳:集落協定109、個別協定8) (2)協定農用地予定面積:1,919ha(継続分1,837ha+新規取組見込分82ha)



No.	区分	実施者等	平成27年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性	平成28年度 取り組み予定
6	市民	【団体】 シバザクラなどによる景観形成活動	主な活動は、ため池管理や水路の泥上げなど農業用施設の維持管理を目的としたものの他に、女性会や子ども会等と連携して行う用排水路等の清掃活動や、地域住民一体となって取り組んでいるシバザクラ等の植栽による景観形成などである。 シバザクラは、地域内の3割以上の農用地や施設の法面に植栽が行われており、また、休耕田にコスモスやひまわりを植栽する取り組みも進んでいる。農業用施設の維持管理以外にも、清掃活動や植栽活動などの農村地域の資源や環境を保全することを目的とした取り組みを進めたことで、農業者だけではなく、非農家も参加する地域ぐるみの活動として位置付けられた。これらの活動を通して地域の連帯感が生まれ、話し合いの場が増すなど地域一帯の活性化につながっている。 ※平成26年度には中国四国農政局から、同局長優秀賞を受賞		
7		【個人】 平成27年度広島大学生物生産学部新入生オリエンテーションDayキャンプ(林野作業プログラム)	西条山と水の環境機構の運営委員として指導を行った。 開催場所:憩いの森公園 対象者(参加人数):広島大学の学生(約200名)		
8		【団体】 平成27年度広島大学生物生産学部新入生オリエンテーションDAYキャンプ林野作業	森林整備(除伐作業、搬出材のチップ化作業)体験の指導。 開催場所:東広島市憩いの森公園 対象者(参加人数):学生、大学関係者144名、スタッフ12名		
9		【団体】 山のグラウンドワーク(第71回～第75回)	1 森林整備 除伐・下刈り等:約7,000㎡      アカマツ林内の雑木の除伐・地拵え   約3,500㎡  2 炭焼き等 炭焼き準備(薪割り・窯詰め)アカマツ材137kg  3 チップづくり等 材のチップ化体積:約19㎡  4 講座 木質バイオマス講義、「西条・龍王の名水」ガイドツアー  5 炭焼き準備(薪切り・窯詰め)137kg(アカマツ材)  開催場所:東広島市憩いの森公園 参加者:市民・大学生・高校生・企業・東広島学等	企業の経営環境変化により参加者の減少があった反面、近年の参加者増により、200人程度が一か所で作業できる未整備地がなくなってきた。	1 森林整備 除伐・下草刈り、チップづくり等  2 雨天時プログラム 木質バイオマス講習、名水ガイドツアー  3 炭焼き  4 炭焼き準備  5 ペレットづくり  6 木質バイオマス講習 「地球温暖化と木質バイオマス」佐藤高晴広島大准教授  7 チップづくり  開催場所:東広島市憩いの森公園 参加者:市民・大学生・高校生・企業関係者等
10	事業者	【事業者】 海域・海岸清掃活動	三津湾やその海岸線で、毎年、夏から秋にかけて清掃活動を行った。三津湾内では、各組合員が漁船を出して浮遊物を回収し、海岸では、主に女性たちが漂着ゴミを回収した。三津湾は、安芸津の特産品である牡蠣の養殖が盛んに行われている大切な環境資源であり、この清掃活動を続けながら、三津湾の美しい風景を守っていきたい。		
11		【事業者】 山のグラウンドワーク	林内の除伐作業 開催場所:憩いの森公園 対象者(参加人数):職員10名		

(2) 自然とのふれあいの推進

【取り組みの方向性(目標)】

①自然とふれあうことができる場づくり  
森林、川、ため池、海などの本市が有する多様な自然環境と、安全に楽しくふれあうことができる場づくりを目指します。

②自然とふれあえる機会や活動の充実  
自然とふれあうことによって、自然環境に対する理解や愛着を深め、環境保全に対する自主的な行動の促進を目指します。

No.	区分	実施者等	平成27年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性	平成28年度 取り組み予定
1	市	【都市整備課】 自然公園管理事業	1 憩いの森公園の間伐を行い間伐材を再利用した。 2 公園内を間伐して整備することにより、子どもも大人も安心して自然と触れ合える空間の確保に努めた。 3 憩いの森公園セミナーハウスにペレットストーブを設置した。	公園施設の管理に継続して間伐材を使用する。	1 施設の管理に間伐材を使用する。 2 間伐して整備することにより、人が森に入りやすい環境をつくる。 3 ストーブの燃料に木質ペレットを活用する。
2	市民	【団体】 ふるさと郷田の里山を大切に 心に残る植樹(東広島市森づくり事業)	郷田の誇りである沖田嘉市さん縁の深道池・中の峠隧道近くに、ヤマザクラ、ヤマモミジ、ヤマボウシの三種類の苗木を計60本植樹した。一緒に植樹した郷田小学校の児童たちにとっても、この地は総合的な学習の時間に何度も訪れた親しみのある地で、児童たちは、育てる会や賀茂地方森林組合の方から指導を受けながら、協力し合って、一生懸命植樹していた。植樹した木の前には自分の名前をさし、「自分たちの木」という思いが強まったようである。 植樹後は、育てる会のメンバーが維持管理をし、児童たちは植樹した木を度々見に来てくれている。植樹した苗木が大きく育つように、これからも地域で協力し、ふるさとの里山を守っていきたい。		
3		【団体】 竹林寺山道整備	登山道の邪魔な草木を除去したり、登山者が歩きやすいようにスコップや重機などを使って道をならしたりした。また、登山者にコースがわかりやすいように、道案内看板を設置した。 整備は何日かに分けて行ったが、地域住民の他に大学生が応援で参加してくれたおかげで、とても作業がはかどった。		
4		【団体】 東志和小学校みどりの少年団	この少年団の活動には、学校を花いっぱいにする活動、保護者との清掃活動、地域の方に教わりながらの農業体験などがある。地域の方や、地域の自然に関わる機会が増えたことで、児童たちには、地域の方への感謝の気持ちや、地域の自然を大切にしようという思いが今まで以上に芽生えてきているようだ。2月には日頃お世話になっている地域の方々にプレゼントを配り、感謝気持ちを伝えた。 これからも、全校児童で活動を続け、一人ひとりが自然を愛し、人を愛し、自らの社会を愛することのできる心豊かな人間に育ってほしいと願う。		
5		【団体】 芋ほり体験	保護者と地域の人で、地域の内外から子どもたちを集めて芋ほり体験を行っている。芋を育てる畑は地域の遊休地を活用し、春には苗を植え、秋には芋を掘って収穫し、収穫した芋は、豚汁、天ぷら、焼き芋などの料理をして食べるなど、参加者のみなさんには様々な体験をもらった。 この体験を通じて、多くの人に宇山の自然に触れ合ってもらい機会となり、また、体験の畑に遊休地を活用することで、遊休地の減少につながる効果がある。		
6		【団体】 つつじの里づくり	福富町内に多数自生している野生のつつじを守り育てるために山の手入れをする活動をしている。 エコネットひがしひろしまの後援で、4月には「第4回つつじの里づくり体験版 ―花を愛でつつじ、野草を食べんさんさい―」を開催し、44名の方に参加していただいた。この体験版では、講師の先生をお迎えして、つつじ山の近辺で採取した野草の講義を受け、天ぷらにして食べた。また、10月には第5回の体験版を開催し、つつじ山の木の伐採、つつじの下草刈りなどを行った。 少しずつではあるが、皆さんの協力を得ながら、つつじの里の整備が進んでいる。一人でも多くの方の憩いの場となるように、地域の方々と一緒になってこの活動を続けていきたい。 ※この活動は、市が交付する「市民協働のまちづくり活動応援補助金」が活用されている。		



No.	区分	実施者等	平成27年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性	平成28年度 取り組み予定
7	市民	【団体】 桜並木の定植・管理	大芝地区の桜並木を作る活動として、道路沿いに約300本の桜を定植し、年10回の施肥をするなどの維持管理を行っている。おかげで、毎年春には道路沿いにきれいな桜が咲き誇り、住民や来訪者の憩える散歩道となっている。これからも、住民や来訪者が安全で安心して楽しく交流できるように地域の良い環境を守って、一人でも多くの人に瀬戸内海を望む美しい大芝島の自然を楽しんでもらいた。		
8		【団体】 「見上げてごらん夜の星を♪」 観望会開催	夏と冬の2回、上黒瀬小学校校庭と体育館で、ミニプラネタリウムによる星座の名前の学習や、天体望遠鏡による天体観測を行っている。このイベントは、地域住民と広島大学天文学研究会の学生が協働で開催していて、天文学研究会の学生が住民たちに星座などの説明をわかりやすくしてくれ、地域住民は、学生たちの話を聞き、普段は何気なく見ている星空から新たな発見や感動が生まれているようである。 また、このイベントを通じて、地域住民同士や学生との交流が生まれている。きれいな空気であれば、きれいな星空を見ることはできない。特に子供たちには、きれいな空気を守って行くには何をしたら良いかを考える機会にしてみらい、いつまでもきれいな星空が輝く上黒瀬地区であってほしいと願っている。 ※この活動は、市が交付する「市民協働のまちづくり活動応援補助金」が活用されている。		
9		【団体】 水生生物観察会 半川	手作りミュージアム 対象者：不特定多数		
10		【団体】 水辺教室 カエルの観察会	参加人数：10人		
11		【団体】 田植え体験	昔ながらの手植えを体験。JA稲作指導員の指導後に、みんなで一列になってココノエモチの苗を植えた。また、秋に稲刈り、冬に餅つきを行った。 開催場所：西濱圃場 対象者（参加人数）：乃美尾小学校5年生17名、先生、JA指導員、地元住人の計29人		1 田植え体験 昔ながらの手植えでの田植え体験 開催場所：西濱圃場 対象者（参加人数）：乃美尾小5年生11人  2 稲刈体験 昔ながらの、鎌を使っての稲刈り、ハゼ掛けの体験。 開催場所：西濱圃場 乃美尾小5年生11名
12		【団体】 ホテルの宿 自然学校	まきづくり（まき割り） 開催場所：志和堀1723 対象者（参加人数）：10人		

No.	区分	実施者等	平成27年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性	平成28年度 取り組み予定
13	市民	【団体】 山菜の会	1 食事会20人 2 植苗(ナメコ、シイタケなど) 3 まき割り7人		
14		【団体】 夏の自然体験	開催場所:ホテルの宿 参加人数:延29人		
15		【団体】 里山再生体験	参加人数:15人		
16		【団体】 西条小学校4年生総合学習の時間	森林整備体験(アカマツ林内の雑木の伐木体験) 開催場所:東広島市憩いの森公園 対象者:小学4年生4クラス		
17		【団体】 広島大学総合博物館 フィールドナビ(春・秋の会)	広島大学総合博物館と共催でネイチャーゲームを行った。 開催場所:広大・東広島キャンパス 対象者(参加人数):一般延べ54人(親子中心(子どもは幼児から小学校低学年))		広島大学総合博物館と共催でネイチャーゲームを行う。
18		【団体】 ひろしま山の日(龍王山会場)	山の日の一環として龍王山でネイチャーゲームを行った。 開催場所:龍王山 対象者(参加人数):緑の少年団と一般の参加者20人位		山の日の一環として龍王山でネイチャーゲームを行う。 開催場所:龍王山 対象者(参加人数):緑の少年団と一般30人
19		【団体】 第16回 アクアフェスタin福富	ちいさな水族館、ウォーターサーバーなど環境に関するイベントを開催し、水の大切さを訴える。(2日間で初の20,000人突破!!) 開催場所:道の駅 湖畔の里 対象者(参加人数):24,000人		多くの行事を予定しているが、今年も環境に関するイベントを開催していこうと思っている。 開催場所:道の駅 湖畔の里 対象者(参加人数):未定
20		【団体】 バードウォッチング入門講座	バードウォッチングのマナーや方法、市内で見られる野鳥の種類や野鳥観察の楽しさなどについて学べる講座を開催した。		
21		【団体】 里山整備や里山資源の活用	里山整備に必要な草刈りや植樹などのノウハウ、里山資源を活用したいための植菌や木材の加工などについて学べるイベントを開催した。		
22	事業者	【団体】 山のグラウンドワーク(第71回～第75回)	1 森林整備 除伐・下刈り等:約7,000㎡ アカマツ林内の雑木の除伐・地植え 約3,500㎡ 2 炭焼き等 炭焼き準備(薪割り・窯詰め)アカマツ材137kg 3 チップづくり等 材のチップ化体積:約19㎡ 4 講座 木質バイオマス講義、「西条・龍王の名水」ガイドツアー 5 炭焼き準備(薪切り・窯詰め)137kg(アカマツ材)  開催場所:東広島市憩いの森公園 参加者:市民・大学生・高校生・企業・東広島学等	企業の経営環境変化により参加者の減少があった反面、近年の参加者増により、200人程度が一か所で作業できる未整備地がなくなってきた。	1 森林整備 除伐・下草刈り、チップづくり等 2 雨天時プログラム 木質バイオマス講習、名水ガイドツアー 3 炭焼き 4 炭焼き準備 5 ペレットづくり 6 木質バイオマス講習 「地球温暖化と木質バイオマス」佐藤高晴広島大准教授 7 チップづくり  開催場所:東広島市憩いの森公園 参加者:市民・大学生・高校生・企業関係者等
23		【団体】 山中池とががら山で遊ぼう!! ーキャンパスの里山探検Ⅱー	キャンパス内の池や山を歩きながら、植物や昆虫の観察を行った 開催場所:山中池・ががら山 対象者(参加人数):一般(60名)		
24		【団体】 海洋フィールド調査体験ツアー2015	海洋調査船「豊潮丸」を利用し海洋調査を体験。瀬戸内海への関心を深めた。 開催場所:呉市練習船基地～ 広島湾 対象者(参加人数):一般(38名)		
25		【団体】 ネイチャーゲームで遊ぼう!(春編・秋編)	環境教育プログラムのひとつ「ネイチャーゲーム」を通して、自然にふれあう体験ができた。 開催場所:広島大学東広島キャンパス内 対象者(参加人数):一般(55名)		環境教育プログラムのひとつ「ネイチャーゲーム」を通して、参加者同士で自然にふれあう体験を分かち合う。 開催場所:広島大学東広島キャンパス内 対象者(参加人数):一般
26		【団体】 発見の小径を歩く! ーキャンパスの里山探検Ⅲー(仮)			キャンパス内の池や山を歩きながら、植物や昆虫の観察を行う。 開催場所:広島大学東広島キャンパス内 対象者(参加人数):一般
27		【団体】 田植え・稲刈り体験	地域の子ども達を中心に対象として、農事組合で所有している田を使って田植え、稲刈り体験を開催した他、もちつき大会やシイタケの植菌体験などの様々な農業にふれあうことができるイベントを開催した。 田植え体験、稲刈り体験には、100名程度の参加があり、最初は泥の感触に戸惑っていた子ども達も、最後まで頑張って体験してくれた。イベントを開催する一番の目的は、子ども達に地域の自然に触れてもらって、地域の環境や地域のお米を好きになってもらいたいという思いから。美味しいお米を作るためには、きれいな水が必要。地域を流れる入寺川で、いつまでもホテルが住める環境を整えるために「ホテルの里づくり」を開催し、子ども達を中心に河川の清掃やホテルのエサであるカワニナの放流に参加してもらった。 きれいな地域の水を守るためには、一人ひとりが水をきれいにする努力が必要である。私たちの活動を通して、多くの子供たちが、そのような気持ちを持ってもらえたらと考えている。		



(3) 生物多様性の保全

【取り組みの方向性(目標)】

①生物多様性の保全

山から海に至る本市の多様な環境に適応した生物に対する認識を高め、生物多様性の保全を目指します。

No.	区分	実施者等	平成27年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性	平成28年度 取り組み予定
1	市	【文化課】 文化財調査保護事業	1 幼生調査:4～5月 2回実施(棕梨川・日中) 156匹確認 その他広島大学総合博物館の協力により、離散状況の撮影を実施中。  2 産卵調査:9月4～8日実施 1ヶ所で産卵確認。 1ヶ所で産卵行動確認。  3 生息分布調査:5～11月 5回実施(棕梨川・三篠川) 棕梨川新規2個体確認 三篠川新規1個体確認  4 小冊子「オオサンショウウオがいるらしい」(H26年度作成・H27年度販売)	基本的に上記調査を継続し、データを蓄積する。	1 基本的に上記調査を継続し、データを蓄積する。  2 調査報告書作成のためのデータ整理等を行う。
2		【河川港湾課】 河川整備事業	5河川(延長L＝164m)を環境保全型ブロックにより整備した。	今後も、技術的に施行可能な河川については、環境保全型ブロック等による環境に配慮した工法により整備を行う。	技術的に施行可能な河川に、環境保全型ブロックを使用した河川整備を行う。 ・2河川 ・延長L＝126.0m
3		【都市整備課】 都市公園の整備	1 龍王山総合公園の整備工事を継続して行いました。  2 カスミサンショウウオの保全を行うとともに、生態が観察できるような整備を行った。	カスミサンショウウオの保全に適した環境整備を行う。	引き続き、龍王山総合公園の整備工事を継続して行う。
4		【農林水産課】 多面的機能維持管理支払交付金事業	次のとおり農村環境保全活動が実施された。 (1) 農地維持支払 取組活動組織:42組織、交付対象面積:2,373.8ha (2) 資源向上支払 ①地域資源(農地、水路、農道等)の質的向上を図る共同活動を支援 取組活動組織:41組織、交付対象面積:2,357.7ha ②施設の長寿命化のための活動(既存組織のみ継続) 取組活動組織:12組織、交付対象面積:1,293.5ha	県・国・他部局との連携を図りながら、事業を推進し、他事業との重複をしないよう指導・確認を実施していく必要がある。	次のとおり農村環境保全活動への支援を行う。 (1) 農地維持支払 継続分＋新規取組見込分1,740ha (2) 資源向上支払 ①地域資源(農地、水路、農道等)の質的向上を図る共同活動を支援 継続分＋新規取組見込分1,740ha ②施設の長寿命化のための活動(既存組織のみ継続) 継続分のみ
5	市民	【団体】 希少生物の保全活動	地域に咲く希少生物が盗掘されたりやイノシシに荒らされたりして減少している状況を危惧し、「四季の里 宇山」の福祉保健部が中心となって、種からエヒメアヤメやイチリンソウなどの希少生物を育てている。 私たちは、平成22年7月にエヒメアヤメの種まきを始めて、花が咲いたのは4年後の平成26年4月であった。エヒメアヤメは花が咲くまでに年月がかかる品種で、各家庭で育てるのはいろいろと苦労がある。しかし、地域の希少生物は自然の財産であり、見られなくなることはとても寂しいことなので、みんなで力を合わせて再生に取り組んでいる。今後は、私たちが育てたエヒメアヤメなどの希少生物を、自生している場所の近くに移植することも考えている。 また、自生している希少生物を守る取り組みとして、希少生物の周りを柵で囲んで、イノシシから守る活動も行っている。宇山は自然豊かな地域である。この自然をいつまでも残していけるように取り組みを続けていきたい。		
6	事業者	【団体】 国の特別天然記念物オオサンショウウオの調査研究活動	国の特別天然記念物オオサンショウウオの分布調査を核に、同種の年齢査定や幼生の動向等の調査研究活動を継続して行った。 開催場所:東広島市豊栄町 対象者(参加者):一般・学生		国の特別天然記念物オオサンショウウオの分布調査を核に、同種の年齢査定や幼生の動向等の調査研究活動を継続して行う。 開催場所:東広島市豊栄町
7		【団体】 自然散策道「発見の小径」	広島大学総合博物館は、キャンパスの豊かな自然も展示としたエコミュージアム。博物館本館を中心にキャンパス内に点在するサテライト館を結んだ散策道“発見の小径”を整備しており、ここでは四季折々の自然の移り変わりを観察することができる。キャンパス内には絶滅危惧種を含む多様な生物が生息し、先史時代以降の約30カ所にのぼる遺跡が見つかっている。たくさんの見所を含むキャンパスを、自由な発想で、いつでも利用できるのが発見の小径の魅力。 総合博物館では、「発見の小径 探検マップ」を配布し、様々なイベント開催や生物相のリストを公開(総合博物館研究報告参照)している。		発見の小径を歩く！ーキャンパスの里山探検Ⅲー(仮) キャンパス内の池や山を歩きながら、植物や昆虫の観察を行う 開催場所:東広島キャンパス内 対象者(参加人数):一般



(4) 市街地の緑の保全と整備・創出

【取り組みの方向性(目標)】

①市街地の緑の保全

公園や街路樹、生垣などを適切に維持・管理し、私たちの生活に潤いを与えるとともに、都市部における多様な生物の生息環境でもある、市街地の緑の保全を目指します。

②市街地の緑の整備・創出

公共施設や民有地等の緑化、公園の整備等により、市街地の緑の整備・創出を目指します。

No.	区分	実施者等	平成27年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性	平成28年度 取り組み予定
1	市	【都市整備課】 都市公園の整備	1 東広島運動公園の駐車場・多目的広場の整備工事を行った。 2 引き続き、龍王山総合公園の整備工事を行った。 3 引き続き、諏訪公園の整備工事を行った。 4 (仮称)切田が丘2丁目公園の測量業務・整備工事を行った。	引き続き、バランスに配慮して公園の設置を行う。	1 引き続き、東広島運動公園の駐車場・多目的広場の整備工事を行う。 2 引き続き、龍王山総合公園の整備工事を行う。
2		【都市整備課】 都市公園管理事業	広報紙、パンフレット、FMひがしひろしま、ホームページ等により、情報提供を行った。	住民自治協議会と連携して公園里親制度の普及を図る。	情報提供の充実 より多くの市民の関心を高めるために、公園里親制度に関する情報を提供し、緑豊かなまちづくりの推進に向け、広報紙、広報番組、パンフレット、インターネットによる情報提供の充実を図る。
3		【管財課】 公共施設の緑化	引き続き公用車車庫と北館屋上の緑化を実施した。	引き続き本庁舎の緑化促進と植栽の管理を行う。	引き続き本庁舎の緑化促進と植栽の管理を行う。
4		【都市計画課】 地区計画による緑化推進	地区計画制度の活用により、周辺の環境に配慮した土地利用を図る中で、沿道の生垣化や緑地の設定などによる地区内の緑化推進を図った。 (1)地区施設の配置方針として、緑地を設けた。 (2)緑豊かな環境づくりのため、沿道の生垣化を推進するといった垣・柵の構造の制限を定めた。  平成27年度：吉川地区工業団地地区計画の区域拡大を行った。	地区計画制度の活用による民有地等の緑化推進を継続する。	地区計画制度の活用により、周辺の環境に配慮した土地利用を図る中で、沿道の生垣化や緑地の設定などによる、地区内の緑化推進を図る。 (1)地区施設の配置方針として、緑地を設ける。 (2)緑豊かな環境づくりのため、沿道の生垣化を推進するといった垣・柵の構造の制限を定める。
5		【農林水産課】 緑化推進事業	21名の卒団者に対して、32名の入団者を迎えることができた。 ⇒ 現団員数:82名	今後も事業を継続していく。	自然学習や植樹祭など12回の行事を通じて団員の養成を行う。 【活動内容】 1回…自然学習、2回…地元植樹祭、卒入団式リハーサル、3回…卒入団式、4回…街頭緑化募金、5回…「山の日」イベント、6回…サマーキャンプ準備、7回…サマーキャンプ、8回…卒団記念行事、9回…森林学習、10回…森林学習、11回…市民環境緑化植樹祭、12回…もちつき体験学習
6		【廃棄物対策課】 公衆衛生推進協議会が実施する花いっぱい運動の支援	1 共通事業 東広島市公衆衛生推進協議会の組織・活動・募金  2 各支部での取組事業 花いっぱい運動、水辺教室、健康学習活動など地区独自の活動を展開	廃棄物対策課は、東広島市公衆衛生推進協議会の事務局をしており、自ら活動するものではない。東広島市公衆衛生推進協議会は、住民自治協議会の環境部会等と一体的に活動又は外部団体として活動しており、住民自治協議会や地区の公衆衛生推進協議会の自主性を尊重している。	東広島市公衆衛生推進協議会の支部・地区が実施する花いっぱい運動等に対して補助金を通じて支援を行う。
7	市民	【団体】 御園宇新町公園の維持管理	市の里親制度を活用し、地域の方々が月2回公園の草刈り・溝掃除などの維持管理を行っている。 公園の景観を良くするため平成26年度に、桜と榎の木の植樹を行った。また、平成27年度は公園東側の斜面にシバザクラを植える計画もあり、地域の方の手によって公園が輝いている。		
8		【団体】 黒瀬川沿いの維持管理	年に4～5回、黒瀬川沿いに植えた桜の木の手入れを中心に土手の草刈りなど周辺環境の維持管理を地域の方々が協力して行っている。桜が咲く時期には地域の方々をはじめ、多くの方が花見を楽しむ等、地域の交流の場となっている。		
9		【団体】 彼岸花の里づくり	上戸野地区では、昔から国道375号沿いなどに彼岸花を植える、「彼岸花の里づくり」に取り組んできた。彼岸の時期には、上戸野地区に彼岸花が咲き誇り、地域を真っ赤に染めている。これまでに、彼岸花を広範囲に植えてきたため手入れは大変になってきたが、地域の人たちに身近な環境へ目を向けてもらうきっかけにしてほしいという思いで活動が続けている。 地域の環境を守るには、地域の住民がやらなければならない。今後、もっと彼岸花が見られる範囲を広がるように、この活動を受け継いでいきたい。		



(5) 歴史・文化的資源と歴史的な町並みの保全・活用

【取り組みの方向性(目標)】

①歴史・文化的資源の保全・活用

歴史・文化的資源を大切に保全し、地域の歴史を学ぶ教材等として活用するなど、先人が私たちに残してくれた貴重な環境資源の保全・活用を目指します。

②歴史的な町並みの保全

西条の酒蔵通りや白市の町並みなど、本市が有する歴史的な町並みの保全と活用を目指します。

No.	区分	実施者等	平成27年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性	平成28年度 取り組み予定
1	市	【文化課】 安芸国分寺歴史公園の整備	計画どおり、樹木の育成及び芝の管理を行った。	一部の樹木に栄養不良、水分過多等の状況が見られるため、経過観察ののち、施肥や植替え等を検討する必要がある。	平成27年度に引き続き、樹木の育成、管理等を行っていく。
2		【生涯学習課】 生涯大学システム運営事業	1 学習メニューブック (1)環境に関するイベント情報等を掲載した学習メニューブックを作成し、地域センター等で市民に提供した。(年2回) (2)学習メニューブックの情報を市ホームページで掲載し周知した。 2 生涯学習まちづくり出前講座 (1)環境に関する講座を掲載したリーフレットを作成し、地域センター等で市民に提供した。(年1回) (2)出前講座の講座情報を市ホームページへ掲載し周知した。 (3)市民からの申込みにより、講師を派遣した(出前講座の実施)。 環境に関する出前講座開催件数:31件	今後も広く周知し、継続して実施していく。	1 学習メニューブック (1)各機関において実施する様々な講座や教室等の情報を提供してもらい、その情報を掲載する学習メニューブックを作成し、市民に提供する(年2回)。 (2)市ホームページへの学習メニュー情報を掲載する。 2 生涯学習まちづくり出前講座 (1)市の各部局や公的機関・団体から講座メニューを提供してもらい、年1回リーフレットを作成し、市民に提供する。 (2)市ホームページへの講座情報を掲載する。 (3)市民の申し込みにより、講師を派遣する(出前講座の実施)。
3		【都市計画課】 酒蔵地区、白市地区の景観形成	酒蔵地区、白市地区の景観形成に係る計画推進及び地元調整を図った。 (1)酒蔵地区において、景観保全のための補助制度創設の調整を行った(平成28年度から運用開始予定)。道路美装化については、地元住民の間で、7月、9月、1月に3回のワーキング会議を開催し、路面のデザイン、道路側溝管理の方向性を決定した。また、電線類地中化についても実施の可否に係る検討を行った。 (2)白市地区においては、白市交流会館の建築に着工し、周辺の道路美装化については平成28年3月に完成した。	酒蔵地区においては、景観形成のためのルール作りが過去に頓挫した経緯があり、継続的な課題となっている中、現在取り組んでいる、登録文化財制度の活用及びそれら文化財等歴史的建築物の保存のための補助制度の運用により、地域の景観形成に関する意識向上を図りつつ、ルール作りに再挑戦する。	酒蔵地区、白市地区の景観形成に係る計画推進及び地元調整を図る。 (1)酒蔵地区においては、道路美装化、側溝管理等の最終案について、地元調整を行う。また、景観保全のための補助制度の運用を開始するにあたり地元への周知を行う。 (2)白市地区においては、平成28年度完成予定の白市交流会館を住民の活動拠点として活用し、白市の魅力あるまちづくりを進めていく。
4	市民	【団体】 志和堀の「宝」再発見	志和堀は14km <sup>2</sup> という狭い面積だが、二十数箇所にも及ぶ「史跡」が残っており、非常に珍しい地域と言われている。しかし、これまではどこにどのような史跡があるかあまり知られていなかった。志和堀の「宝」である「史跡」を多くの方々に知ってもらうため、「志和堀の「宝」再発見」をテーマとして、平成27年度に「史跡」の「由来」「案内」看板を24箇所に設置し、埋もれていた史跡を掘り起し、郷土の魅力を発信した。		
5		【団体】 風早を紹介するパンフレット作成	自治協の教育文化部会が、風早地区の歴史、史跡、特産物、伝統行事などを紹介したパンフレットを作成した。風早地区は万葉の故地としての歴史と伝統があるが、地元の人でもその理解と関心が薄い。このパンフレットを契機として、地域住民が地域の歴史と伝統に関心を持ち、郷土を大事にする気持ちを高めてほしい。 また、このパンフレットを通じて風早地区の魅力を発信して、風早を訪れる人を増やし地域の活性化を図りたいとも考えている。今後は、風早巡りウォーキングの実施や郷土史講座の開催を検討していきたい。		
6		【団体】 古民家再生プロジェクト	1 茅葺き屋根の葺きかえ 空き家の茅葺き民家再生プロジェクトの一環で、石井元春氏、沖元太一氏の指導の下、学生中心で屋根の葺き替えを行った。 2 茅葺フォーラム見学会 豊栄町の茅葺き民家再生活動成果を、茅葺きフォーラム(日本茅葺き文化協会主催)の見学会で、全国から訪れた学者や職人、一般市民らに披露した。 3 茅刈り 西中国茅葺き民家保存研究会主催の行事に、近畿大学生19人が参加し、次年度の茅葺き屋根の葺き替えのための茅刈りを行った。  開催場所:豊栄町能良、志和町志和堀 開催回数:年3回 参加者:学生・一般(延べ約190名)		



(6) 潤いのある市街地景観の創出

【取り組みの方向性(目標)】  
①総合的な景観形成の推進  
良好な景観形成のためのルールづくり等により、快適で質の高い町並みの形成を目指します。

No.	区分	実施者等	平成27年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性	平成28年度 取り組み予定
1	市民	【団体】 高屋堀団地のフラワーロード	高屋堀団地では、自治会内のコミュニティ活動を通じて、団地周辺の緑化活動を推進することを目的として、平成18年春に団地下の市道脇に花壇作りを始めた。花壇を作る前は雑草が生い茂った場所であったが、土を入れたり、レンガを並べたりして、3年かけて全長約200mの花壇を整備した。今では、定期的な花壇の草取りや水やり、6月と11月に季節の花の苗を植えるなどして、年間を通じて団地の住民や通行される方の心の癒しになればと思い取り組んでいる。また、市道に面した法面にはシバザクラの整備も始めていて、これからますます花でいっぱいの高屋堀団地になっていく。		
2		【団体】 「磯松 花咲かせ隊」活動	ボランティア活動を通じて、「生徒の自己肯定感を高めること」「地域と係るきっかけを創ること」を目的に、生徒が自ら育てた花を、地域の保育所や諸施設約20箇所に配付する活動をしている。配布先や地域の皆様から、「いつもありがとう」、「次はいつ持ってきてくれるの」などの声かけをしていただき、生徒にとっては、大きな励みになっている。	これからも「花をいっぱい咲かせ隊」と、花づくりを続けていく。	
3		【団体】 フラワーロードの整備	川上小学校西側の通学路約100mに竹で作ったプランターに花を植えて「フラワーロード」として水やりや花の植えかえなど整備と管理をしている。今年も全部で40個ある竹のプランターをみんなで作り直し、花の植えかえをして通学路を花で飾った。地域に、美しい環境と美しくやさしい心が育つことを願って、15年継続して活動している。		
4		【団体】 豊栄町内花いっぱい運動	豊栄中学校では、一人で3つの鉢を育てる、「一人三鉢運動」など、全校生徒で緑化に取り組んでいる。また、活動は、校内だけではなく、高齢者サロンや小学校、保育所などと連携して、豊栄町内一帯で行っていて、小学校の児童に花の育て方を教えることもある。 このような活動が認められて、平成26年度的全日本学校関係緑化コンクールの「学校環境緑化の部」で準特選を受賞した。	今後は、地域に花だけでなく地域の方に苗を贈ることも計画。これからも、地域の方々と連携して、花でいっぱいの豊栄町を創っていく。	
5		【個人】 景観を考えるシンポジウム	市民を対象にしたシンポジウムで司会進行を行った。 対象者(参加人数):一般(約100名)		

(7) 健全な水質と水循環の確保

【取り組みの方向性(目標)】

①健全な水質の保全

水を汚さない取り組みの実践等により、健全な水質の保全を目指します。

②適正な水循環の確保と水資源の有効活用

水源となる森林の保全や雨水利用等により、水循環の確保と水資源の有効活用を目指します。

No.	区分	実施者等	平成27年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性	平成28年度 取り組み予定
1	市	【下水道建設課】 下水道管路の整備	生活排水を適切に処理するための下水道管路の整備を実施した。 (1)下水道管路設計業務 5件 (2)下水道管路建設工事 26件 延長 11,061m (3)その他業務 4件	未整備区域において、整備を要望されている区域、高齢化により望まれない区域がある。また周辺地域では人口減少により、家屋が点在しているため、投資効果が期待できない区域もある。より経済的、効率的に整備を進めていくためにアクションプランを策定し、未整備区域の早期解消にむけ継続的に整備を進めていく。	市民生活の環境改善と公共用水域の水質保全を目的として、生活排水を適切に処理するための下水道管路の整備を継続して実施し、快適で魅力ある住環境の整ったまちづくりを目指す。 (1)下水道管路設計業務 6件 (2)下水道管路建設工事 23件 延長 9,000m (3)その他業務 4件
2		【環境対策課】 小型浄化槽設置整備への支援	1 公共下水道等を整備する区域以外において、小型浄化槽を設置する者に対し、浄化槽の人槽の区分に応じて補助金を交付した。  (2月末現在) (新築) 人槽区分 補助単価 補助予定基数 5人槽 166千円 101基 7人槽 207千円 15基 10人槽 274千円 1基 合計 117基  (改築)※1※2 人槽区分 補助単価 補助予定基数 5人槽 332千円 60基 7人槽 414千円 39基 10人槽 548千円 1基 合計 100基 ※1 単独浄化槽及び汲み取り便所からの転換 ※2 単独浄化槽の撤去が必要な場合は9万円を加算(5件) 合計 217基  2 浄化槽の適正管理を期するため、法定検査を受けていない浄化槽管理者に対し法定検査受検の指導を行うとともに新たに浄化槽を設置した者を対象とする浄化槽維持管理講習会を開催した。	今後も生活雑排水の水質改善のため、単独浄化槽から合併浄化槽や、汲み取り便所から合併浄化槽への転換を推進していく必要がある。 また、平成30年度からは新築への補助が廃止となるため、事務が円滑に進められるよう広報していく必要がある。	1 公共下水道等を整備する区域以外において、小型浄化槽を設置する者に対し、浄化槽の人槽の区分に応じて補助金を交付します。  平成28年度補助金限度額 (新築)※H30年度以降は廃止 人槽区分 補助単価 補助予定基数 5人槽 166千円 139基 7人槽 207千円 68基 10人槽 274千円 4基 合計 211基  (改築)※1※2 人槽区分 補助単価 補助予定基数 5人槽 332千円 139基 7人槽 414千円 68基 10人槽 548千円 4基 合計 211基 ※1単独浄化槽及び汲み取り便所からの転換 ※2単独浄化槽の撤去が必要な場合は9万円を加算 合計 422基  2 浄化槽の適正管理を期するため、法定検査を受けていない浄化槽管理者に対し法定検査受検の指導を行うとともに新たに浄化槽を設置した者を対象とする浄化槽維持管理講習会を計画開催する。
3		【農林水産課・園芸センター】 振興作物土壌改良事業ほか	1 有機良質米生産促進事業(豊かな農業づくり事業) H27年度補助金交付件数:84件 対象面積:10,432a 投入量:2,127t (H28.3.22現在)  2 振興作物土壌改良事業他 H27年度補助金交付件数:31件 対象面積 2,984a 投入量: 891t (H28.3.29現在)	引き続き事業を行い、家畜排せつ物のたい肥利用を支援する。	市内の畜産農家から発生した家畜排せつ物等を原料としたたい肥を投入した農業者に補助を行う。
4		【環境対策課】 出前講座による啓発	平成27年度は水環境をテーマにした出前講座の「川を通じて地域の環境を学ぶ」を小学校で11回、地域で3回、計14回実施した。 平成26年度に開催した講座は、小学校で開催したものばかりであったが、平成27年度は地域の大人向けにも開催でき、啓発の対象を広げることができた。	一つでも多くの地域で環境学習が開催できるように、地域や学校への呼びかけを行っていく。	1 地域や学校向けに出前講座「川を通じて地域の環境を学ぶ」を開講する。  2 これまで開催実績がない地域や学校へも、受講を働きかける。
5		【下水道管理課・下水道施設課】 下水道の普及啓発	1 東広島浄化センター等の見学 下水道施設の見学会について8回実施し、351人の参加があった。 (内訳) (1)東広島浄化センター 5回 303人 (2)黒瀬水質管理センター 1回 30人 (3)安芸津浄化センター 1回 3人 (4)福富浄化センター 1回 15人  2 訪問等による普及啓発活動 普及啓発活動については、昨年度からの訪問活動により概ね50世帯の接続がなされた。 また、未接続要因は、約4割が経済的または借家等の理由であることがわかった。	今回整理した未接続要因の分析から、関係の施策を再度検討し、未接続家屋の実態に則した普及啓発活動に活かしていく。	1 東広島浄化センター等の見学 下水が実際にきれいになる様子を見てもらい、下水道に対する関心を高めてもらう。  2 訪問等による普及啓発活動 今回整理した未接続要因もとに、関係制度の見直しを図るとともに、今後も訪問等による普及活動を継続的に実施する。  3 下水道出前講座の開催 小学校を中心に下水道出前講座を行い、クイズ・実験を通じて下水道の仕組み・役割に対する理解を深めるとともに、正しい使い方について知ってもらう。
6		【環境対策課】 水質改善モデル業務	小学校で環境学習を実施する際に地域の河川の水質を簡易試験で調査した。地域の河川の水質は人口の増加に従って上流から下流に向けて悪化するという調査結果から、この河川の水質悪化の主な原因は生活排水にあることを学んでもらった。	平成27年度と同様に、環境学習を通じて地域の河川やため池の水質を学んでもらう機会を増やしたいと考えている。	平成27年度と同様に、環境学習を通じて地域の河川やため池の水質を学んでもらう機会を増やしたいと考えている。
7		【農林水産課】 ひろしまの森づくり事業・造林事業・環境貢献林整備事業	1 森林所有者において除伐、間伐、下刈、植栽などが実施された。 ⇒造林事業補助を実施した。:118.01ha 2 荒廃人工林の再生に向けて間伐が行われた。 ⇒環境貢献林整備事業補助(間伐): 18.07ha	今後も事業を継続していく。	1 森林所有者に対して除伐、間伐、下刈、植栽などに要する経費の一部を補助する。 ⇒ 造林事業補助(認定事業者への支援) 2 放置され荒廃した人工林の再生に向けての取組を支援する。 ⇒ 環境貢献林整備事業補助(間伐)



No.	区分	実施者等	平成27年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性	平成28年度 取り組み予定
8	市	【環境対策課】 地下水観測	市で地下水の水質監視を実施することの検討を行った。 検討の結果、平成28年度から市内の井戸を選定し、その井戸の水質分析を実施することとした。	広島県では、県内をいくつかのブロックに区分し、その中から、毎年度、地下水調査を実施するブロックを選定する。市内では、毎年度1～4地点で県が調査を実施しており、市では、県が調査を実施しないエリアから毎年調査地点を2地点選定し、地下水の水質調査を実施していく。	市内の2地点の井戸を選定し、地下水の採水・分析調査を実施する。
9		【消防総務課】 雨水利用	雨水を屋外散水及びトイレの洗浄水として使用し、節水に努めた。	継続して使用する。	雨水をろ過し、滅菌して貯水し、屋外散水及びトイレの洗浄水として利用
10		【管財課】 雨水利用	雨水の利用により、水道使用量の削減に努めた。	今後も、雨水を効果的に利用する。	引き続き、本庁舎本館において雨水を効果的に利用する。
11		<H27新規> 【環境対策課】 えひめAI推進事業	1 「えひめAI」環境学習の開催 東広島市公衆衛生推進協議会福富支部や市福富支所と連携して、「えひめAI」環境学習を10回開催した。  2 市ホームページへ「えひめAI」に関する情報の掲載 市のホームページへ「えひめAI」の作り方や効果などの情報を掲載した。  ※えひめAIとは ヨーグルトや納豆などの食品から作る環境浄化微生物。水質浄化や消臭の効果があるとされている。愛媛県で開発され、四国地方を中心に普及している。食物から作るのもので、子どもでも安心して使用することができる。	平成27年度にも「えひめAI」の環境学習を開催したが、これまであまり開催実績がなかった地域でも「えひめAI」を普及させたいと考えている。	1 「えひめAI」環境学習の開催 東広島市公衆衛生推進協議会福富支部や市福富支所と連携し、市内10か所において、「えひめAI」環境学習を開催する。 環境学習を開催した地域や学校には、環境学習後も「えひめAI」を継続して使用してもらえるように、配布用の「えひめAI」を500mlのペットボトルに小分けにして無料で提供する。また、えひめAIの作り方や効果を示したパネルも設置する。  2 「えひめAI」モデル地区での実験 環境学習を行う10か所のうち、1か所をモデル地区に選定し、同じ河川（水路）流域のまとまった集落に対して「えひめAI」の継続した使用を依頼する。 「えひめAI」の使用前後の水質の変化を調査し、「えひめAI」の効果を把握する。
12	市民	【団体】 竹炭を使った水質浄化	地域に手作りの炭窯があるため、その炭窯を活用して地域の小学生を対象に環境学習を行っている。炭焼き体験や、自分たちで作った竹炭を川に入れるなど、河川の水質浄化に役立てている。  (1) 古河川をきれいに吉川を流れる古河川に、炭入れを行った。川の水が少しでもきれいになり、ホタルがたくさんいるような川になっていけばと思っている。  (2) 里山整備とも繋がっている炭焼きに使う竹や木は、地域の里山整備で切り出した木の中から、炭焼きに適したものを使っている。地域の山から切り出した素材を処分してしまうのではなく、地域の水質浄化に役立てている。		
13		【個人】 家庭排水の敷地内循環システムの構築	家庭で発生する全汚水を敷地内で衛生的に浄化処理し、循環利用する家庭汚水土壤浄化システムを改善した。福成寺住職・檀家の依頼により、本システムの概要を説明し、老朽化した既存の単独浄化槽3基の代替として境内で構築可能な本システム1式を提案した。 開催場所：自宅、広島市安佐南区 対象者（参加人数）：家族 2人、福成寺檀家の住民		家庭排水の敷地内循環システムの構築 家庭で発生する全ての汚水を敷地内で衛生的に浄化処理し、循環利用する家庭汚水土壤浄化システムの完成を目指す。過去25年の実践利用に基づく成果を整理し、市内で普及させたい。 開催場所：自宅 参加者：家族 2人
14		【団体】 龍王山憩いの森一帯の水質・水量と土壤貯水力定点観察調査	龍王山の山のグラウンドワーク作業エリア付近を流れる川や水路の水質を11地点（5/23土壤貯水力3地点の調査の実施） 開催場所：東広島市憩いの森公園 参加者：広島国際学院大学工学部 竹野健次准教授他スタッフ数名		龍王山の山のグラウンドワーク作業エリア付近を流れる川や水路の水質11地点、土壤貯水力5地点の調査の実施。※春秋の年2回、秋期11月下旬予定 開催場所：東広島市憩いの森公園 対象者（参加人数）：広島国際学院大学工学部 竹野健次准教授他スタッフ数名

(8) 水辺環境の保全とふれあいの創出

【取り組みの方向性(目標)】

- ①水辺環境の保全と再生  
川やため池、海などの水辺の自然環境を将来にわたって健全に保全するとともに、失われたり失われつつある水辺環境の再生を目指します。
- ②水辺とのふれあいの創出  
安全に水辺とふれあえる場づくり等により、市民の憩いの場や、豊かな水辺環境の保全を考える場となる水辺空間の創出を目指します。

No.	区分	実施者等	平成27年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性	平成28年度 取り組み予定
1	市	【維持課】 河川維持作業報償金交付制度	道路河川維持作業に対する報償金の交付を行いました。 (1)交付対象団体 簡易な維持作業を地域ぐるみの社会奉仕活動として行う団体 (2)作業内容 ①河川法面の草刈り ②河川堆積土砂の撤去清掃 (3)交付金額 ①A作業(4時間以上など) 700円/人 ②B作業(2時間以上4時間未満) 350円/人 ③写真代 300円/1実績 (4)延べ作業実施団体数(平成28年2月末時点) 183団体 (5)延べ作業者数(平成28年2月末時点) 8,151人		道路河川維持作業に対する報償金の交付を行う。 (1)交付対象団体 簡易な維持作業を地域ぐるみの社会奉仕活動として行う団体 (2)作業内容 ①河川法面の草刈り ②河川堆積土砂の撤去清掃 (3)交付金額 ①A作業(4時間以上など) 700円/人 ②B作業(2時間以上4時間未満) 350円/人 ③写真代 300円/1実績
2	市民	【団体】 ホタルの里づくり	地域でホタルが一番舞う福富ダムの直下から親水公園までの環境整備活動を行った。 昨年までは、地域センターの上流側で「ホタルの里づくり」を行っていたが、河岸の防災工事で三面張りになり、ホタルが住みづらい環境になったため、福富ダムの下流側に活動場所を移した。  この活動では、毎年地域の住民に加え、ボランティアで来ていただいているリコージャパン株式会社の皆さんの協力をいただき、河川の草刈り、彼岸花の施肥、ホタルのエサになるカワニナ採りなどを行い、河川やその周辺の環境整備に取り組んでいる。 もともと、このあたりは自然環境に恵まれた美しい所で、溪流にはホタルの他に、オイカワ、カワムツ、ヨシノボリ等の淡水魚が生息し、春には新緑、秋には紅葉を楽しむことができる。  この環境をいつまでも守っていけるよう、引き続き活動していきたいと思う。		
3		【団体】 棕梨川河川敷の石拾い	平成26年の大雨で、棕梨川の河川敷にある池に溜まった石の除去作業を行った。 この作業は、「子供たちが安全に遊べないので撤去してほしい」と地元の方から依頼を受けて行ったもので、2日間で計12名が参加した。  除去した石は、小さいものからサッカーボールくらいの石まであり、手作業で運び出すのは大変だった。 子どもやお年寄りの方には難しい作業だったため、大学生のマンパワーを活かすことができた。 また、この活動を通じて、昼食をご馳走になる等、河内町の自治会の皆さんにお世話になった。 住民の皆さんには様々に声をかけていただき、仲良くなることができた。 リバーサイドフェスティバルで安全に川で遊んでいただけるようお手伝いできて有意義であった。  今後も河内町の住民の皆さんの要望に応えながら、交流を深め、様々な形で河内町に関わって行きたい。		
4		【団体】 親子ふれあい川遊び	猛暑が続く夏。戸野老人集会所付近の沼田川河川敷で暑さに負けじと親子で鮎のつかみどりなどの水遊びを通じて身近にふれあえる水辺環境を満喫した。 地元の方はもちろん、戸野地域外からも多くの参加がありとても盛り上がった。		
5		【団体】 鐘鑄原池の土手の除草	1 池の保守管理 2 開催場所:鐘鑄原池 3 対象者(参加人数):10名		1 池の保守管理、用水路の清掃 2 開催場所:鐘鑄原池 3 対象者(参加人数):10名
6		【団体】 憩いの森の水路の清掃	1 用水路の落葉その他の除去清掃。 2 開催場所:憩いの森		1 用水路の落葉その他の除去清掃。 2 開催場所:憩いの森



(9) きれいな空気や静かな環境等の保全

【取り組みの方向性(目標)】

- ①大気環境の保全
- 空気を汚さない取り組み等により、きれいな大気環境の保全を目指します。
- ②静かな環境の保全
- 日常生活や事業活動から騒音を発生させない取り組み等により、静かな環境の保全を目指します。

No.	区分	実施者等	平成27年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性	平成28年度 取り組み予定
1	市	【道路建設課】 市道整備事業	1 市道整備として、幹線道路(2車線道路)は、15路線の整備を行った。  2 生活道路(1車線道路)は、32路線の整備を行った。  3 幅員の拡幅、歩道設置を含む車道の増設(2車線)及び交差点の改良を実施した。  これにより、交通容量の拡大、通行帯区分が明確となり、朝夕の通勤時の円滑な交通流動により、渋滞緩和、目的地到達時間の短縮等に繋がり、排気ガス、騒音の抑制に寄与した。		1 交差点改良(右折レーン設置等)により渋滞を緩和する。  2 道路改良により、幅員の拡幅、車道の増設による交通容量の拡大、歩道及び自転車歩行者道を設置して交通流の円滑化を図る。  3 交差点についても隅切りを設置し、道路における車の流れを円滑化にする。  これらにより、走行速度、道路渋滞の改善が図られ、排気ガス、騒音が軽減される。
2		【都市計画課】 パーク&ライドの推進	1 市は広島圏域パーク&ライド推進協議会の会員として、山陽線の八本松、西条、西高屋、白市の各駅をパーク&ライドの対象駅とし、周辺駐車場の登録・紹介を行った。  2 県が主体となる推進・啓発活動に対し、空き駐車場の情報提供を行った。	パーク&ライド対象駅周辺駐車場の空き状況等の情報提供を行い、利用者の増加を目指す。	1 市は広島圏域パーク&ライド推進協議会の会員として、山陽線の八本松、西条、西高屋、白市の各駅をパーク&ライドの対象駅とし、周辺駐車場の登録・紹介を行う。  2 県が主体となる推進・啓発活動に対し、空き駐車場の情報提供を行って協力する。
3		【管財課】 公用車管理事務	1 新たな公用車管理システムについては、より効果的な機能の検討を行うこととした。  2 車両の更新時に合わせて公用車を削減した。 平成26年度末218台→平成27年度末216台  3 燃費性能の良い軽自動車への切り替えを促進した。 平成26年度末151台→平成27年度末152台	買取車については、低排出性能が伴っていないものがあるため、車両更新時を見計らい、切り替えを行う。	1 稼働率の低い車両を更新時に廃止する。  2 車両の更新時には、より燃費性能の良い軽自動車への切り替えを図る。  3 引き続き、新たな公用車管理システムに必要な機能及び導入時期について検討を行う。
4		【廃棄物対策課】 野焼き防止対策に関すること	1 野焼き指導(旧市分のみ掲載) (1)苦情者から電話等により、対応した件数は54件。(平成28年3月末時点) (2)野焼きパトロールを適宜行い、現場にて口頭指導するなど対応した。 (晴天の日・乾燥した時期に、煙を目指して野焼き現場に行き市民に口頭指導を実施。)  2 ホームページに記事を掲載し、野焼き禁止の情報を発信した。	1 野焼きは消防関係(火災予防)、農林関係(農業の畦焼き)の部署とも関連があり、連携をとって野焼きは禁止されている事を周知する。  2 きれいなまちづくりキャンペーンの回覧文書の裏面に、野焼き禁止・不法投棄禁止の説明文書を掲載し、周知を図る。	廃棄物の違法な焼却に対して指導を行い、ホームページなどで防止啓発に関する情報を発信する。
5		【環境対策課】 悪臭規制導入	平成27年4月1日に市内全域において悪臭の規制を開始した。	悪臭の規制を継続して行う。	規制地域の指定等の検討は完了したので、平成28年度の計画はない。
6		【環境対策課】 ライトダウンキャンペーンの後援	ライトダウンキャンペーンを実施した。 (1)主催:ライトダウンin東広島2015実行委員会 (2)日時:平成27年8月8日(土) 18時30分から21時30分まで (3)開催場所:東広島市立西条小学校グラウンド、屋内運動場 (4)内容 ①合唱団によるコンサート ②広島大学宇宙科学センター教授による天文・光害の話 ③天文相談コーナー ④グラウンドでの天体観測 (5)参加者:266人	今後も、ライトダウンキャンペーンの後援を予定。	ライトダウンキャンペーンを実施する。 (1)主催:ライトダウンin東広島2016実行委員会 (2)日時:平成28年7月31日に開催 (3)開催場所:西条小学校グラウンド (4)内容:グラウンドでの天体観測 など。 (5)事前に会場周辺の店舗等に出向き、開催時間帯の不要な消灯の協力を要請する。

(10) 廃棄物の排出抑制と循環的利用の促進

【取り組みの方向性(目標)】

①3Rを基本とした取り組みの推進  
「ごみはできるだけ発生させない(発生抑制:リデュース)」、「いらないモノは他の人や他の用途で使ってもらう(再使用:リユース)」、「資源として使えるモノは使う(再資源化:リサイクル)」の3Rを基本とした資源循環型の ライフスタイルや流通形態の定着を目指します。

No.	区分	実施者等	平成27年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性	平成28年度 取り組み予定
1	市	【廃棄物対策課】 ごみ減量化及び資源化の推進	1 出前講座を開催 開催 47回(参加者 1, 980人)[平成28年3月末]  2 古着古布の拠点回収 約24トン回収  3 使用済小型家電の回収事業の導入 市の事業として実施し、約4. 3トン回収  4 広島中央環境衛生組合管内での連絡調整 東広島市、竹原市、大崎上島町の2市1町が連携して、今後のごみの減量施策等について協議を行った。	1 学校に対して本市の施策及び排出されるごみの行方についての説明やパッカー車の見学などを行う。  2 関連する情報をホームページに掲載する。  3 ごみの減量化及び資源化を推進するため、今後も啓発講座を実施する。	1 出前講座を開催 (1)啓発資料(分別冊子、啓発用DVD)を活用しごみの減量啓発講座を開催する。 (2)開催案内は、各住民自治協議会、各教育機関ほか広報等で一般公募する。 (3)新規に市民講演会を開催予定。  2 ごみ減量化施策 ごみの減量化の周知活動の一環として資料を整備し、ホームページに掲載し啓発活動を行う。  3 古着古布の拠点回収 市公共施設及び主旨に賛同された地域センターの協力により古着古布の拠点回収を実施する。  4 使用済小型家電の回収事業の導入 市の事業として継続して実施する。  5 広島中央環境衛生組合管内での連絡調整 東広島市、竹原市、大崎上島町の2市1町が連携して、今後のごみの減量施策等について協議する。  6 平成29年10月より家庭ごみ有料化を実施する。
2		【廃棄物対策課】 固形状一般廃棄物処理事業	1 出前講座を開催 開催 47回(参加者 1, 980人)[平成28年3月末]	ごみの減量化及び資源化を推進するため、今後も啓発講座を実施する。	1 出前講座を開催 (1)啓発資料(分別冊子、啓発用DVD)を活用しごみの減量啓発講座を開催する。 (2)開催案内は、各住民自治協議会、各教育機関ほか広報等で一般公募する。 (3)新規に市民講演会を開催予定。
3		【廃棄物対策課】 生ごみ処理容器等購入者に対する補助金及び生ごみ処理機の貸出事業	1 生ごみ処理容器等購入費補助(平成28年3月末) (1)電気式生ごみ処理容器(63件 1, 113, 900円) (2)コンポスト容器(91件 258, 800円) (3)ミミズコンポスト容器(1件 3,000円) (4)EM菌処理容器(8件 13,900円) (5)小型剪定枝破砕機(12件 111,000円)  2 電気式生ごみ処理機の貸出 5基の総貸出件数 32件	制度をより広く周知し、事業を今後も継続実施する。	1 生ごみ処理容器等購入費補助金(補助個数315基) 廃棄物の減量化促進のため、生ごみ処理容器等購入者に対して、購入費等の一部を補助する。  2 電気式生ごみ処理機の貸出 生ごみ処理容器機の利用促進を図ることを目的に、短期間の貸出しを行い、市民への周知を図る。
4		<H27新規> 【市政情報課】 ペーパーレス会議システム導入	平成27年6月にペーパーレス会議システムの構築作業を行い、平成27年7月から対象会議で順次運用を開始した。 (対象とする会議は議会(本会議、常任委員会)、経営戦略会議。)		ペーパーレス化を対象とする会議を順次増やしていく。
5		【廃棄物対策課】 広島中央環境衛生組合負担金	1 環境影響評価に係る評価書について、縦覧を行った。また、広島中央環境衛生組合により総合評価審査委員会を設置し、施設の仕様等を審議した。  2 造成設計に着手した。		1 ごみ焼却施設については、賀茂環境衛生センター、竹原安芸津環境センター、大崎上島環境センターの3施設を統合整備し、し尿処理施設については、賀茂環境衛生センター、安芸津クリーンセンター、竹原クリーンセンターの3施設を統合整備する計画である。 (建設候補地 東広島市と竹原市の市境に位置する松ヶ山・簾山内)  2 広島中央環境衛生組合により総合評価審査委員会を設置し、施設の仕様等を審議、落札者を決定する。  3 保安林解除と用地取得、造成工事に着手する。



No.	区分	実施者等	平成27年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性	平成28年度 取り組み予定
6	市	【廃棄物対策課】 資源回収推進団体に対する報 償金の交付	1 資源回収推進団体報償金交付(平成28年2月末) (1)登録団体数 222団体 (2)交付件数 654件 (3)資源回収量 2,384トン (4)交付金額 12,871千円	近年、回収量が減少傾向にあるが、回収団体への報 償金を交付しながら、今後ごみ減量化を推進する。	市民のごみの分別意識の向上及び再資源化促進のため、一般家庭から排出され る再資源化できる古紙類、繊維類、金属類、瓶類及び廃食用油を自主的に回収した 団体に対して報償金を交付する。
7		<H27新規> 【下水道管理課・下水道施設課】 下水道汚泥の有効活用	各污水处理施設で発生する汚泥の全量(9,493.8t)を有機質肥料化した。 内訳 ①東広島浄化センター 8,708.7t ②黒瀬水質管理センター 549.5t ③安芸津浄化センター 128.0t ④福富浄化センター 42.05t ⑤豊栄浄化センター 65.55t	今後の下水道汚泥の発生量見込みを予測し、有効活 用の方向性について検討します。	引き続き下水道汚泥の有機質肥料化を行います。
8		<H27新規> 【志和出張所】 志和出張所管理運営事業	1 年間を通じて、廃棄物対策課及び委託を受けたシルバー人材センターが回収のために何度も来所した。 2 年間を通じて、廃棄物対策課及び委託を受けた業者が回収のために何度も来所した。 3 年間を通じて、廃棄物対策課が回収のために来所した。	古着古布及び小型家電の回収は、出張所からの連 絡によって行われているが、定期的な回収を希望す る。	1 廃棄物対策課の平成28年度事業計画によるが、引き続き拠点施設になれば実施 する。 2 古着古布の拠点回収(廃棄物対策課) 志和出張所において実施する。 3 使用済小型家電の拠点回収(廃棄物対策課) 志和出張所において実施する。 4 使用済乾電池及びライターの拠点回収(廃棄物対策課) 志和出張所において実施する。

No.	区分	実施者等	平成27年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性	平成28年度 取り組み予定
9	市民	【団体】 ごみの分別・リサイクル習慣	入野地区では地域を挙げて各家庭でのごみの分別、お祭りやイベントで出たごみは各自持ち帰ることやリサイクル可能なものは入野会館のエコステーションに集めて搬出し、定期的に地域を回り資源回収に努めている。 また、小学生4年生によるエコ標語が載っている高齢者の方にも分かり易いごみ収集日のチラシを作成・配布し、ごみの分別→リサイクル→減量が日々の生活に溶け込むような工夫をしている。		
10		【団体】 リサイクル市	地域住民の方たちが、着なくなった子ども服や、使わなくなったかばんやおもちゃなどを持ち寄れるスペースを地域センター内に設け、リサイクル品として展示している。 この取り組みは、地域センターを利用されている方の、「子どもが成長して着なくなった服を捨てるのは『もったいない』」という意見や、「地域の人たちが集まる場所で、リサイクルできるものを持ち込める場所を作ってほしい」という要望から始まりました。  利用者の方からは大変好評で、すでに3年ほど続いている。 地域センターが開いている時は、リサイクル品の展示スペースを開放して、自由に持ち寄ったり、持って帰ったりしていただける。 多くの皆さんに活用してもらい、リサイクルの輪を広げていきたい。		
11		【個人】 家庭ごみの排出量削減策の検討			家庭ごみの排出量削減策の検討 (1)有効な家庭ごみ排出量削減策を検討する目的で昨年10月から自宅の種別ごみ排出量を記録し始めた。 (2)記録を最低1年間は継続し、それをもとに有効な家庭ごみ排出量削減策を提案したい。 (3)開催場所:自宅 (4)対象者(参加人数):東広島市のごみを考える市民の会
12		【団体】 リユース市	リユース市は、「いらないものを再び価値あるものに」をテーマにした定例行事。 毎年卒業生から不要となった家具や電化製品を譲り受け、新入生たちに安く提供するという非営利目的の活動を行っている。 春休み中に物品の回収や会場の準備などを行い、4月初旬に東広島キャンパスにて開催します。エコ・ペーじが行う最も大規模な活動。	売れ残りの物品が三点ほどあり、最終的に廃棄物として処理することとなり、活動の趣旨に反した。	リユース市 (1)卒業生から不要となった家具を集め、新入生向けに安く販売する。 (2)開催場所:広島大学 (3)来場者:約50人
13		【団体】 エコキャップ・プルタブの回収運動	1 エコキャップは、H26年11月から開始し回収量111Kg(ワクチン55人分)。 2 プルタブは、H25年10月から開始し回収量は16Kg 3 回収箱:津江 上条会館、市黒瀬地域センター、乃美尾土地改良区事務所、黒瀬文化会館		エコキャップ・プルタブの回収運動 (1)エコキャップを回収し、途上国の子供たちのワクチン代に。プルタブは、社会福祉協議会を通じ障害者支援に役立てる。 (2)回収箱:津江 上条会館、市黒瀬地域センター、乃美尾土地改良区事務所、黒瀬文化会館 (3)対象者(参加人数):一般市民
14		【団体】 広島大学大学祭	大学祭にてゴミの回収・分別、割り箸を再生紙にリサイクルする活動を行った。 (1)開催場所:広島大学 (2)対象者(参加人数):部員10人	実行委員会とも連携がうまくできず、天候の悪い中テントが用意されなかった。	広島大学大学祭 (1)大学祭にてゴミの回収・分別、割り箸を再生紙にリサイクルする活動を行う。 (2)本年度からリユース食器を導入予定。 (3)開催場所:広島大学
15	事業者	【事業者】 生ごみ処理機の導入	給食などで出た野菜などの残りを、生ごみ処理機を使って有機肥料化し、それを園内の畑に撒いて食物を育てている。 また、園児たちは市が行う環境学習講座を受講し、ごみの減らすことや分別することの大切さを学び、今では教室に設置された2つのごみ箱に、きちんと分別してごみを捨てるようになった。		
16		【事業者】 エコスポットの運用	1 古新聞、古雑誌の回収 2 開催場所:店舗西側駐車場		1 古新聞、古雑誌の回収 2 開催場所:店舗西側駐車場
17		【事業者】 リサイクルの推進活動	1 食品トレイ、アルミカン、牛乳パックの回収 2 開催場所:食品館正面玄関		1 食品トレイ、アルミカン、牛乳パックの回収 2 開催場所:食品館正面玄関
18		【団体】 東広島リサイクルショップ	1 実施開催場所:西条町寺家 2 対象者(参加人数):不特定多数市民		



( 1 1 ) 不法投棄防止対策の推進

【取り組みの方向性(目標)】

①環境美化活動の促進による不法投棄の防止

自分たちの暮らすまちを清潔に保つため、多くの市民が環境美化活動に参加することで、ごみのポイ捨てや不法投棄をしにくい、清潔な環境づくりを目指します。

No.	区分	実施者等	平成27年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性	平成28年度 取り組み予定
1	市	【廃棄物対策課】 不法投棄防止啓発看板及び犬のフン放置防止啓発看板の作成・配布	看板及び支柱を作成し希望者へ配布した。 (1)不法投棄防止啓発看板119枚(H28.3月末) (2)犬のフン放置防止啓発看板83枚(H28.3月末)	看板について、要望がある市民に対しては継続して配布するとともに、ホームページで情報発信を行う。	看板及び支柱を配布する。また、看板に関する情報をホームページに掲載する。 (1)不法投棄防止啓発看板及び支柱(看板100枚、支柱200本) (2)犬のフン放置防止啓発看板(80枚)
2		【廃棄物対策課】 本市及び環境保全監視員による不法投棄監視パトロール及び収集	1 不法投棄監視パトロール及びごみ処理業務(平成28年2月末) シルバー人材センターに監視パトロール及び不法投棄ごみの処理業務を委託し、ごみ85,409kgを処理した。  2 不法投棄夜間監視パトロール(重点監視地点) 不法投棄が多発している地点について、夜間パトロールを業者に委託して実施した。  3 環境保全監視員による不法投棄監視パトロール及び収集活動 東広島市公衆衛生推進協議会の環境保全監視員(不法投棄監視パトロール及び収集活動を実施)に対する補助金を支出し、不法投棄の監視及び回収活動を行った。  4 地域清掃活動を実施する市民などへごみ袋を提供し、地域団体の活動を支援した。  5 不法投棄監視カメラの設置 不法投棄が多い場所に、移動式監視カメラを設置し、不法投棄ごみの減少を図った。	不法投棄者の摘発に向けた施策として、移動式監視カメラの設置場所の選択等に配慮する。	1 不法投棄監視パトロール及びごみ処理業務 シルバー人材センターに監視パトロール及び不法投棄ごみの処理業務を委託  2 環境保全監視員による不法投棄監視パトロール及び収集活動 東広島市公衆衛生推進協議会の環境保全監視員(不法投棄監視パトロール及び収集活動を実施)に対する補助  3 地域清掃活動を実施する団体へのごみ袋の提供  4 不法投棄監視カメラの設置 不法投棄が多い場所に、移動式監視カメラを設置し、心理的な抑止や不法投棄がされにくい環境づくり、不法投棄ごみの減少を図る。
3		【廃棄物対策課】 不法投棄の土地所有者に対する指導、助言を行う	不法投棄者に対する指導、助言についてホームページに情報を掲載するなど、啓発活動を実施しました。	不法投棄の事例等、ホームページに掲載し、情報発信を行い、不法投棄の撲滅を目指します。	1 投棄された廃棄物を発見した場合、関係機関(県及び警察)と連携して投棄者、土地所有者に指導、助言を行います。  2 不法投棄に関する情報をホームページに掲載するなど、情報発信を行います。
4		【廃棄物対策課】 きれいなまちづくりキャンペーンの実施	平成27年度は、実施後にホームページに情報を掲載た。 参加者 13,136人 収集量 6.0トン	地区・町ごとで参加人数が全く違っており、住民自治協議会の設立に伴い、地域主導による活動の方向性も検討する必要がある。	毎年、6月の第2日曜日に、ごみのポイ捨て防止を重点に、市内の各会場(小学校・地域センター等)を拠点に、市民、事業者及び行政が一体となって統一キャンペーンを実施し、環境美化意識の高揚を図ることを目的に、ごみの回収ウォークを行いる。
5		【廃棄物対策課】 環境教育(広報・HP等)に関する こと	広報紙への連載・ホームページ配信	ごみを捨てにくい環境・意識づくりを進めるため、ホームページ等で情報を発信する。	ごみを捨てにくい環境・意識づくりを進めるため、関連する情報をホームページ等に掲載する。
6		【指導課】 環境美化教育	平成27年度は、小学校6校、中学校7校が学校の魅力ある教育活動を支援する「魅力アップ事業」を活用し、環境の整った美しい学校及び地域づくりを目指す取り組みを行った。 例えば、志和堀小学校では、サルビアを志和堀の花として位置付け、「花いっぱい運動」を進めています。 10月に行われた「サルビア祭り」では、今年咲いたサルビアから、種を取り出し、風船とともに、大空に飛ばす活動を行い、環境美化の輪を広げる取組を進めた。 また、高美が丘中学校では、環境教育・学校環境緑化の重点目標を設定し、地域環境の問題について考え、自然環境保全のために行動できる姿勢を育てるとともに、緑化・栽培活動を通して、美しい環境づくりを目指している。		学校の魅力アップ事業の取組 (1)平成28年度も、小学校、中学校が、学校の魅力ある教育活動を支援する「魅力アップ事業」を活用し、環境の整った美しい学校及び地域づくりを目指す取り組みを行う。 (2)取り組みを通して、豊かな心の育成を図る特色ある取組を実践する予定。

No.	区分	実施者等	平成27年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性	平成28年度 取り組み予定
7	市民	【団体】 造賀クリーン大作戦	造賀地区では、約25年前、ごみを資源に変える地域の取り組みとして、新聞雑誌・ダンボール・カンを、小学校のエコステーションに持参する活動を始めた。 また、「造賀クリーン大作戦」として、地域の清掃活動と、資源ごみを売却した収益金を活用し地域に花を咲かす花いっぱい運動を展開した。 更に、国道375号沿いや、すみよし公園を中心に、1年を通して、季節の花がきれいに咲いている。 今では、これらの取り組みが全市的に広がり、6月の第2日曜日にきれいなまちづくりキャンペーンとして清掃活動が行われている。		
8		【団体】 クリーン太田川	地域内一斉清掃。みんなで守ろうふるさとの川。 (1)開催場所:東川・半川・関川 (2)対象者(参加人数):300人		
9		【団体】 サンタプロジェクト	東広島市役所から東西南北4方向に別れ、サンタの格好で清掃活動を行った。 (1)開催場所:西条周辺 (2)対象者(参加人数):18人(一般・部員)	一般の参加者が4人と少なく、広報が足りなかった。	1 サンタプロジェクト (1)東広島市役所から東西南北4方向に別れ、サンタの格好で清掃活動を行う。 (2)開催場所:西条周辺  2 ハロウィンプロジェクト (1)ハロウィンのコスプレをし、清掃活動を行う。 (2)開催場所:西条周辺
10	事業者	【事業者】 小泉おそうじ隊	小泉おそうじ隊では、平成20年3月から、毎年、春のお花見時期前の3月と、秋の東広島最大のお祭り「酒まつり」が開催される10月に、西条駅周辺を中心に街の清掃活動を行っている。 参加者は年々増えており、近隣の方だけではなく、広島大学のアメフト部の学生や、JICA広島の留学生の方々もボランティアとして参加してくれていて、今では、100名余りの方と一緒に取り組んでいる。最近では、回収するゴミの量が減ってきているので、この活動で街中にゴミが目立たなくなり、不法投棄を抑制することにもつながっているように感じる。  ※小泉おそうじ隊は、平成27年度に東広島市公衆衛生推進協議会から公衆衛生活動優良団体として表彰された。		
11		【事業者】 御菌宇地区清掃	御菌宇地区清掃 (1)AM8時より30～40分店舗周辺の清掃、御菌宇地区主導の地区行事 (2)開催場所:店舗周辺 (3)対象者(参加人数):従業員約20人		御菌宇地区清掃 (1)AM8時より30～40分店舗周辺の清掃、御菌宇地区主導の地区行事 (2)開催場所:店舗周辺 (3)対象者(参加人数):従業員約20～30人
12		【事業者】 事務所周辺清掃作業	草刈作業。 (1)開催場所:事務所周辺 (2)対象者(参加人数):役職員10名程度		



( 1 2 ) 温室効果ガスの抑制に向けた総合的な取り組みの推進

【取り組みの方向性(目標)】

- ①地球温暖化防止、低炭素社会構築のための仕組みづくり
- 地球にやさしいライフスタイルへの転換など、市民一人ひとりの知恵と工夫により、地球温暖化の防止や低炭素社会を実現していくための効果的な仕組みづくりを目指します。
- ②二酸化炭素吸収源対策の推進
- 適切な森林の育成・管理等により、温室効果ガスの大部分を占めている二酸化炭素の吸収源となる、森林の環境機能の保全を目指します。
- ③地産地消の促進
- 地場農産物の販売促進や学校給食、飲食店での利用拡大等により、フードマイレージの削減にもつながる地産地消の促進を目指します。

No.	区分	実施者等	平成27年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性	平成28年度 取り組み予定
1	市	【環境対策課】 地球温暖化対策地域協議会補助	1 緑のカーテン講習会 緑のカーテンの栽培方法についての講習会を開催した。参加人数：23名  2 平成27年度総会・第1回交流会 会員による活動紹介や今後実施を期待する事業について意見交流を行った。参加人数：32名  3 夏休み自由研究相談会 (1)近畿大学工学部の学生を講師として、小学生の夏休みの自由研究の進め方についてアドバイスを行う相談会を中央図書館で開催した。 (2)相談件数：43名  4 まちづくり企画交流塾 (1)東広島市市民協働センターと連携し、「みんなで考える、次世代型の環境都市」と題して東広島市環境先進都市ビジョンの実現に向けて、ワークショップ形式で市民協働の視点から取り組む事業の企画を行った。 (2)参加人数：20名  5 企画交流研修 (1)当会の今後の方向性を位置づけ、短期・中期・長期目標について検討するための企画交流研修を開催した。 ①1日目には半尾川周辺を散策し、「半尾川再生プロジェクト」の推進に必要な事柄についての検討を行った。 ②参加人数：15名  6 第2回交流会 (1)企画交流研修の振り返りと会員や学生団体による活動紹介を行った。 (2)参加人数：40名  7 TWO IN ONE ワークショップ (1)西条の市街地を流れる半尾川の再生をキーワードに、市街地のにぎわい創出のビジョンづくりへとつなげるための第一歩の集会として、ワークショップを開催した。 ①参加人数：30名。 (2)憩いの森公園を新エネ・バイオマス拠点に位置付け環境学習の場に整備していくための方策を考えるワークショップを開催した。 ①参加人数：23名	1 ネットワーク組織としての活動を深化させる必要がある。 2 ワーキンググループの見直しが必要である。	市民・事業者・団体による地域温暖化対策の取組を活性化するため、東広島市地球温暖化対策地域協議会「エコネットひがしひろしま」に対する、活動費の一部補助を継続する。
2		【農林水産課】 ひろしまの森づくり事業	1 森林所有者において除伐、間伐、下刈、植栽などが実施された。 造林事業補助を実施した。：118.01ha  2 荒廃人工林の再生に向けて間伐が行われた。 環境貢献林整備事業補助(間伐)：18.07ha	今後も事業を継続していく。	1 森林所有者に対して除伐、間伐、下刈、植栽などに要する経費の一部を補助する。 造林事業補助(認定事業者への支援)  2 放置され荒廃した人工林の再生に向けての取組を支援する。 環境貢献林整備事業補助(間伐)
3		【農林水産課】 農林水産物販路拡大推進事業	1 推奨マーク使用者及び地産地消応援店の認定実績 平成27年度85店(者)(3/22時点)  2 インターネット販路拡大事業 H27年度交付金対象者数：2件  3 参加イベント一覧 (1)春の園芸まつり2015(園芸センター) 5月2日(土)5月3日(日) (2)黒瀬ふれあい夏祭り(黒瀬生涯学習センター周辺) 7月25日(土) (3)河内リバーサイドフェスティバル(棕梨川河川敷) 7月26日(日) (4)どまんなか豊栄ヘソまつり(豊栄ふれあいグラウンド) 8月1日(土) (5)アクアフェスタin福富(道の駅湖畔の里福富) 10月3日(土)10月4日(日) (6)ひろしまフードフェスティバル(広島城周辺、広島中央公園) 10月17日(土)10月18日(日) (7)広島大学ホームカミングデー(広島大学東広島キャンパス) 11月7日(土) (8)火とグルメの祭典あきつフェスティバル(安芸津市民グラウンド) 11月14日(土)11月15日(日) (9)第14回ビジネスフェア中四国2016(広島市中小企業会館総合展示館) 2月5日(金)2月6日(土) (10)春の西条醸華町まつり(JR西条駅周辺) 3月5日(土)	引き続き事業を行い、農業者の所得向上に繋がる取り組みを行う。	1 東広島ブランド推奨マーク(ゆめまる)による地産地消の推進及び販路拡大を行う。  2 インターネットを活用した農林水産物の販路拡大事業とイベント参加による地産地消の推進を行う。  3 スーパーでの東広島産農林水産物のPR及び販路拡大を行う。



No.	区分	実施者等	平成27年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性	平成28年度 取り組み予定
4	市	【学事課】 学校給食での地場農産物の活用	1 各学校給食センターにおける地元食材使用状況調査の実施 (1)平成27年度実績値(重量ベース)(H28.1現在) ①主要野菜10品目 17.8% ②10品目+米 50.0% 2 地元食材供給推進委員会(事務局:園芸センター)での情報共有や関係機関(JA、市場等)との連携により、学校給食で使用する地元食材の種類と量を確保した。 3 H26年度に引き続き、JA芸南による冬キャベツの計画栽培と給食センターへの供給に取り組んだ。	1 地元食材の量の確保(JA等との連携) 2 食材の納入体制の整備(東広島流通センターの活用等) 3 地元食材の使用に係る指標の見直し(東広島市食育推進計画と連動)	1 データ収集・分析 (1)データ収集を行う品目の精査 (2)各学校給食センターへの照会 (3)収集したデータの分析 2 分析結果を踏まえて、取組内容を関係課と協議 3 進捗状況の把握と次年度の取組の方向性決定
5		【政策推進課】 モビリティマネジメントの推進	1 東広島市地域公共交通会議のもとにモビリティ・マネジメント推進分科会の設置し事業を実施した。 (実施内容) (1)東広島市役所職員及び広島大学教職員に対する簡易TFP実施 ①(事前)交通行動に関するアンケート調査(H27年12月) ②バスマップ・時刻表、啓発冊子の配布(H28年1月) ③(事後)交通行動に関するアンケート調査(H28年2月) 2 黒瀬地区の地域サロン参加者を対象とした黒瀬さくらバス利用促進のための簡易TFP実施 (1)(事前)交通行動に関するアンケート調査及びバスマップ時刻表、啓発冊子の説明配布(H27年10月～12月) (2)(事後)交通行動に関するアンケート調査(H28年1月～2月) 3 モビリティ・マネジメント推進分科会の開催	平成27年度の取組みにより、事業のターゲットとしては市内でも公共交通機関のサービス水準が高いエリアに位置する事業所であるが、公共交通機関のサービス水準が低いエリアに居住する対象者は自家用車からの転換がしにくい傾向がみられたことから、今後のターゲットの選定については、公共交通のサービス水準を考慮して行うことが必要。 将来的に公共交通の整備を進める地域については、ハード整備と併せて当該取組みを推進していく。	1 交通行動の定まっていない広島大学の入学予定者に対して、バスマップや時刻表を配布し公共交通の認知度向上と利用意識を高める。 2 広島大学と連携し、学生の通学等の移動実態を把握し、公共交通の利用を促す施策について検討を行う。 3 豊栄地区の地域サロン参加者を対象として、豊栄そよかぜ号利用促進のため利用啓発パンフレット等の配布・説明を実施する。
6		<H27新規> 【環境対策課】 地球温暖化対策事業	温室効果ガスの抑制に向けた行政の率先行動として、新たに超小型電気自動車10台を公用車として配置た。		
7	市民	【団体】 地域のグリーンカーテン講習会	平成27年5月にグリーンカーテン講習会を行い、育て方はもちろん、グリーンカーテンは日差しに含まれる身体に有害な物質を吸収することや、葉の蒸散作用により涼しくなる効果がある事を学んだ。 この夏40のご家庭がグリーンカーテンに取り組み、省エネと緑化活動に取り組んだ。		
8		【団体】 「グリーンエコ入野」活動	入野小学校では、「グリーンエコ入野」として、全校児童が一体となって省エネやリサイクルなど様々な活動に取り組んでいる。 また、各学年でもテーマをもって、大切な環境を守っていくには何ができるかを考えている。 1 省エネナビを活用した節電 (1)エコ委員会が、校内で消費した電力量を「省エネナビ」で毎日確認し、給食時間に放送を使って省エネの目標達成状況について報告している。 (2)平成27年の6月の電気使用量は、平成24年の6月と比べて約35%減っているなど、全校児童の省エネ意識が高まっていると言える。 2 アルミ缶や紙パックの回収 (1)家庭や地域と連携を図って、全校児童がアルミ缶の収集を行うリサイクル活動を行っている。 (2)全校児童が毎給食後に牛乳パックを洗い・乾かし・広げる活動をして、身近なところで行うことのできるリサイクル活動について考えた。 3 グリーンカーテンの設置・管理 4 環境保護を呼びかけるチラシやポスター作り 5 地域活動への参加(花いっぱい運動・入野駅前清掃) 6 こどもエコクラブ交流会参加		
9		【個人】 第14回ひろしま「山の日」県民の集いinひがしひろしま	1 西条山と水の環境機構の運営委員として事務局事務・司会・指導を行った。 2 開催場所:憩いの森公園 3 対象者(参加人数):一般(約200名) 4 開催日:6月7日		第15回ひろしま「山の日」県民の集いinひがしひろしま (1)西条山と水の環境機構の運営委員として事務局事務・司会・指導を行う。 (2)開催場所:憩いの森公園 (3)対象者(参加人数):一般(約200名)
10		【団体】 みどりのカーテン作り	1 エコネットひがしひろしま主催の「緑のカーテン講習会」参加後、竹切り出し、ネットの張り方をエコINNくろせ指導で実施した。 (1)開催場所:黒瀬高等学校 (2)対象者(参加人数):黒瀬高校ボランティア同好会メンバー7名 2 先生たちとネット張り後、鉢への苗植え方指導後、生徒がそれぞれ苗を植えた。 (1)開催場所:乃美尾小学校 (2)対象者(参加人数):小学4,5,6年生、先生、エコINNくろせメンバー計52名		緑のカーテンの意義と、苗植えと水やりを実施。 (1)開催場所:乃美尾小学校 (2)対象:4,5,6年生
11		【団体】 エコッキング	1 地球温暖化の話、地産地消の話、エネルギー(ガス、水道)の話の後、エコッキング実習(省エネ保温ジャガイモ、地産小麦粉のパンケーキ作り)、エコ紙芝居 2 開催場所:中黒瀬小学校 3 対象者(参加人数):1年生77名と先生達計91名		第10回エコッキング (1)地球温暖化、省エネの出前講座。水・ガスを省エネしたッキング方法(ゆでじゃが・地産小麦のパンケーキ作り体験) (2)開催場所:下黒瀬小学校 (3)対象者(参加人数):1年生54名



No.	区分	実施者等	平成27年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性	平成28年度 取り組み予定
12	市民	【団体】 自転車キャラバン隊行動デー	1 3コースに分かれ、自転車に幟、肩にタスキをかけ「近場へは自転車で」と呼びかけながらサイクリング。 その後、地産食材で炊き込みご飯と、芋煮を食べながら懇談。 2 開催場所:黒瀬生涯学習センター 3 対象者(参加人数):18名		第10回自転車キャラバン隊行動デー (1)3コースに分かれ、自転車に幟、肩にタスキをかけ「近場へは自転車で」と呼びかけながらサイクリング。 その後、地産食材で炊き込みご飯と、芋煮を食べながら懇談。 (2)開催場所:黒瀬生涯学習センター (3)対象者(参加人数):一般市民
13		【団体】 エコ講演会	1 講師:広島工業大学 清田誠義教授 2 演題:私たちの暮らしと地球温暖化 3 黒瀬高等学校の生徒たちも参加してくれた。 4 開催場所:黒瀬生涯学習センター 5 対象者(参加人数):45名		1 第17回エコ講演会 (1)地球温暖化、省エネに関する講演 (2)開催場所:黒瀬生涯学習センター (3)対象者(参加人数):45名 2 10周年記念講演会 (1)講師:NHKひろしま気象予報士 勝丸恭子さん (2)演題:地球温暖化の現状と将来予想 (3)開催場所:黒瀬生涯学習センター (4)対象者(参加人数):一般
14		【個人】 家庭内カーボン・マイナス化の継続的実現	1 過去3か年間継続して自動車2台、耕運機等の農機具を含む全家庭内年間CO <sub>2</sub> 正味排出量マイナスを達成した。 家庭内カーボン・ニュートラル実現の鍵は、CO <sub>2</sub> 収支の記録とそれに基づく省エネ対策の実践、CO <sub>2</sub> 正味吸収量の増大にあり、多くの一般家庭で実践可能である。 2 開催場所:自宅・東広島市 3 対象者(参加人数):家族 2人		家庭内正味CO <sub>2</sub> 吸収量増大策の検討 (1)自動車2台、耕運機等の農機具を含む全家庭内年間CO <sub>2</sub> 正味排出量マイナスの継続的実現とCO <sub>2</sub> 正味吸収量の増大を目指す。 東広島市家庭部門の2050年カーボン・ニュートラル実現に役立ちたい。 (2)開催場所:自宅・東広島市 (3)対象者(参加人数):家族 2人
15		【団体】 山のグラウンドワーク(第71回～第75回)	1 森林整備 (1)除伐・下刈り等:約7,000㎡ (2)アカマツ林内の雑木の除伐・地拵え 約3,500㎡ 2 炭焼き等 炭焼き準備(薪割り・窯詰め)アカマツ材137kg 3 チップづくり等 材のチップ化体積:約19㎡ 4 講座 (1)木質バイオマス講義、「西条・龍王の名水」ガイドツアー (2)炭焼き準備(薪切り・窯詰め)137kg(アカマツ材) 5 開催開催場所:東広島市憩いの森公園 6 参加・対象:市民・大学生・高校生・企業・東広島学等	企業(シャープ(株)等)の経営環境変化により参加者の減少があった反面、近年の参加者増により、200人程度が一か所で作業できる未整備地がなくなってきた。	山のグラウンドワーク(第76回～第80回) (1)森林整備 除伐・下草刈り、チップづくり等 (2)雨天時プログラム 木質バイオマス講習、名水ガイドツアー (3)炭焼き (4)炭焼き準備 (5)ペレットづくり (6)木質バイオマス講習 「地球温暖化と木質バイオマス」佐藤高晴広島大准教授 (7)チップづくり (8)開催開催場所:東広島市憩いの森公園 (9)参加者:市民・大学生・高校生・企業関係者等
16		【団体】 第14回ひろしま「山の日」県民の集いinひがしひろしま(第72回山のグラウンドワーク)	1 森林整備:除伐・下草刈り約2,500㎡、材のチップ化体積:約7㎡ (1)開催場所:憩いの森公園 (2)対象者(参加人数):(整備)企業・大学・高校生・市民304人 2 講座:木質バイオマス講義、「西条・龍王の名水」ガイドツアー (1)開催場所:憩いの森公園 (2)対象者(参加人数):(講座)125人		第15回ひろしま「山の日」県民の集いinひがしひろしま(第77回山のグラウンドワーク) (1)森林整備(除伐・下草刈り、チップづくり等) ①開催場所:東広島市憩いの森公園 ②対象者(参加人数):整備約250人 (2)雨天時プログラム(木質バイオマス講習、名水ガイドツアー) ①開催場所:東広島市憩いの森公園 ②対象者(参加人数):来場展示見学者約500人
17	事業者	【事業者】 苗木の植樹や間伐による森林整備活動	民間企業や地元住民が行う森林整備活動に参加。植樹・間伐作業指導を行う。 (1)開催場所:長寿の森(八本松町吉川) (2)対象者(参加人数):民間企業、地元住民等 (3)開催日:年間2回		



(13) 新エネルギーの導入

【取り組みの方向性(目標)】

①新エネルギーの導入の推進

東広島市に適した新エネルギーの導入やエネルギーの地産地消を推進し、低炭素社会の実現を目指します。

No.	区分	実施者等	平成27年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性	平成28年度 取り組み予定																																																																																					
1		【環境対策課】 住宅用太陽光発電システム設置費補助	平成27年度住宅用太陽光発電システム補助実績 (1)交付件数合計: 98件 (2)交付金額合計: 4,395千円 (補助上限額45,000円／件)	スマートハウス化支援に移行	スマートハウス化支援に移行																																																																																					
2		<H27新規> 【環境対策課】 スマートハウス化支援補助及び薪ストーブ・木質ペレットストーブ設置補助	1 住宅のスマートハウス化および薪・木質ペレットストーブの設置に係る経費に対する支援の実績については、次のとおり。 募集期間は、平成27年4月17日から平成28年2月29日とした。 <table><tr><th>補助対象機器</th><th>補助上限額</th><th>件数</th><th>執行額</th><th>備 考</th></tr><tr><td>HEMS</td><td>5,000</td><td>111</td><td>555,000</td><td>補助率1/5</td></tr><tr><td>太陽光発電システム</td><td>45,000</td><td>98</td><td>4,395,000</td><td>補助率1/20</td></tr><tr><td>家庭用燃料電池</td><td>100,000</td><td>4</td><td>400,000</td><td>補助率1/10</td></tr><tr><td>蓄電池</td><td>100,000</td><td>54</td><td>5,399,000</td><td>補助率1/10</td></tr><tr><td>計</td><td></td><td>267</td><td>10,749,000</td><td></td></tr></table> ※太陽光発電システム、定置用リチウムイオン蓄電システム及び家庭用燃料電池システムの補助については、HEMSとあわせて設置すること、又はHEMSが既設であることが条件。  2 木質バイオマスを活用した薪ストーブ及び木質ストーブの設置に係る経費に対して補助を行う。 補助対象設備及び補助額等の詳細については次のとおり。 <table><tr><th>補助対象機器</th><th>補助上限額</th><th>件数</th><th>執行額</th><th>備 考</th></tr><tr><td>薪・木質ペレットストーブ</td><td>30,000</td><td>15</td><td>420,000</td><td>補助率1/10</td></tr></table>	補助対象機器	補助上限額	件数	執行額	備 考	HEMS	5,000	111	555,000	補助率1/5	太陽光発電システム	45,000	98	4,395,000	補助率1/20	家庭用燃料電池	100,000	4	400,000	補助率1/10	蓄電池	100,000	54	5,399,000	補助率1/10	計		267	10,749,000		補助対象機器	補助上限額	件数	執行額	備 考	薪・木質ペレットストーブ	30,000	15	420,000	補助率1/10	住宅のスマートハウス化および薪・木質ペレットストーブの設置に係る経費に対する支援とも、普及促進に向け、市場の動向やニーズの把握に努め、補助の制度設計を検証し、効果的な事業展開をしていく必要がある。	1 住宅のスマートハウス化支援を目的とした設備の設置に係る経費に対して補助を行う。 補助対象設備及び補助額等の詳細については、次のとおり。 平成28年度は、新たに電気自動車用充給電設備を補助対象機器に追加する。 (募集期間:平成28年4月11日～平成29年2月28日) <table><tr><th>補助対象機器</th><th>補助上限額</th><th>件数</th><th>予算額</th><th>備 考</th></tr><tr><td>HEMS</td><td>50,000</td><td>130</td><td>6,500,000</td><td>補助率1/2</td></tr><tr><td>太陽光発電システム</td><td>25,000</td><td>100</td><td>2,500,000</td><td>補助率1/20</td></tr><tr><td>家庭用燃料電池</td><td>100,000</td><td>10</td><td>1,000,000</td><td>補助率1/10</td></tr><tr><td>蓄電池</td><td>100,000</td><td>50</td><td>5,000,000</td><td>補助率1/10</td></tr><tr><td>電気自動車充給電設備</td><td>100,000</td><td>10</td><td>1,000,000</td><td>補助率1/10</td></tr><tr><td>計</td><td></td><td>300</td><td>16,000,000</td><td></td></tr></table> 2 木質バイオマスを活用した薪ストーブ及び木質ストーブの設置に係る経費に対して継続して補助を行う。 補助対象設備及び補助額等の詳細については、次のとおり。 (募集期間:平成28年4月11日～平成29年2月28日) <table><tr><th>補助対象機器</th><th>補助上限額</th><th>件数</th><th>予算額</th><th>備 考</th></tr><tr><td>薪・木質ペレットストーブ</td><td>30,000</td><td>30</td><td>900,000</td><td>補助率1/10</td></tr></table>	補助対象機器	補助上限額	件数	予算額	備 考	HEMS	50,000	130	6,500,000	補助率1/2	太陽光発電システム	25,000	100	2,500,000	補助率1/20	家庭用燃料電池	100,000	10	1,000,000	補助率1/10	蓄電池	100,000	50	5,000,000	補助率1/10	電気自動車充給電設備	100,000	10	1,000,000	補助率1/10	計		300	16,000,000		補助対象機器	補助上限額	件数	予算額	備 考	薪・木質ペレットストーブ	30,000	30	900,000	補助率1/10
補助対象機器	補助上限額	件数	執行額	備 考																																																																																						
HEMS	5,000	111	555,000	補助率1/5																																																																																						
太陽光発電システム	45,000	98	4,395,000	補助率1/20																																																																																						
家庭用燃料電池	100,000	4	400,000	補助率1/10																																																																																						
蓄電池	100,000	54	5,399,000	補助率1/10																																																																																						
計		267	10,749,000																																																																																							
補助対象機器	補助上限額	件数	執行額	備 考																																																																																						
薪・木質ペレットストーブ	30,000	15	420,000	補助率1/10																																																																																						
補助対象機器	補助上限額	件数	予算額	備 考																																																																																						
HEMS	50,000	130	6,500,000	補助率1/2																																																																																						
太陽光発電システム	25,000	100	2,500,000	補助率1/20																																																																																						
家庭用燃料電池	100,000	10	1,000,000	補助率1/10																																																																																						
蓄電池	100,000	50	5,000,000	補助率1/10																																																																																						
電気自動車充給電設備	100,000	10	1,000,000	補助率1/10																																																																																						
計		300	16,000,000																																																																																							
補助対象機器	補助上限額	件数	予算額	備 考																																																																																						
薪・木質ペレットストーブ	30,000	30	900,000	補助率1/10																																																																																						
3	市	【消防総務課】 太陽光発電	太陽光発電設備の利用により、二酸化炭素の歳出削減を行った。	継続して使用する。	屋上に10kwのソーラーパネルを設置し、二酸化炭素排出削減を推進した。																																																																																					
4		【管財課】 新エネルギー機器の導入	本庁舎本館屋上等に設置した太陽光パネルで発電を行うとともに、太陽光発電事業を行う事業者に、太陽光発電システムを設置することを目的に市の所有する公共施設の屋根を貸し出す事業を開始し、平成27年度は御園宇小学校、寺西小学校及び東広島消防署に太陽光発電システムを設置した。	今後も太陽光発電システムによる再生エネルギーの利用を促進するとともに、公共施設に太陽光発電システムを設置することで、環境やエネルギーに対する市民意識の向上も図っていく。	引き続き本庁舎本館屋上等に設置した太陽光パネルで発電を行うとともに、市の所有する公共施設の屋根への太陽光発電システムの設置も続けていく。																																																																																					
5		【学事課】 学校給食センターから出る廃食用油の再資源化	1 学校給食センターから出る廃食用油の量や処理方法 (1)平成27年度回収数量 18,349リットル (2)回収業者名 株式会社アクセス(東広島市安芸津町風早) 2 回収廃食用油は業者により、バイオディーゼル燃料として利用	引き続き、学校給食センターから出る廃食用油について、バイオディーゼル燃料として活用することの継続化を図る。	1 学校給食センターから出る廃食用油の量や処理方法等の調査及びデータ収集 (1)学校給食センター及び廃食用油回収業者への照会 (2)収集したデータや処理方法に関する分析・考察 2 考察を踏まえ、バイオディーゼル燃料として活用することの継続化を図る。																																																																																					
6		【教育総務課】 小学校新設事業、小学校増改築事業	1 小学校新設事業 実施設計完了 実施設計において太陽光発電システムの導入を計画 ①設計実施校数:1校 ((仮称)寺西第二小学校) 2 小学校増改築事業 実施設計完了 ①設計実施校数:1校 (志和小中一貫校)	今後も改修工事や新築工事等で積極的に対応していく	1 小学校新設事業 計画なし 2 小学校増改築事業 基本設計着手 基本設計において太陽光発電システムの導入を計画 ①設計実施校数:1校(志和小中一貫校)																																																																																					
7		<H27新規> 【生涯学習課】 「東広島芸術文化ホール(くらら)」への太陽光発電設備等の設置工事	1 平成27年11月末に太陽光設備等の設置工事完了 (工事概要(予定):太陽光発電30kw、蓄電池33.7kw) 2 平成27年12月から使用開始(平成28年4月の開館に向けた各種準備で建物を使用) 3 平成28年4月1日開館  ※本格的な運用は供用開始日の平成28年4月1日より開始。		1 平成27年度で整備する太陽光発電設備等の活用(再生可能エネルギーの利用)により、平常時に必要な電力の一部を賄うことで光熱費及びCO2の削減を図る。 2 あわせて設置する蓄電池を活用して昼間に発電した電気を蓄電池に貯め、災害時に避難施設として必要となる照明器具や通信機器等の電力を確保する。																																																																																					



No.	区分	実施者等	平成27年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性	平成28年度 取り組み予定
8	市	<H27新規> 【地域政策課】 清武西地域センターペレットストーブ導入	11月にペレットストーブを1台設置し、環境負荷が低減するように努めました。		本年度もペレットストーブを使用し、環境への配慮を進める。
9		【農林水産課】 間伐材等利用可能性調査業務	1 取組内容 木質バイオマス利活用動向、本市における資源量・燃料化可能性及び今後の課題と対策のについて、「東広島市木質バイオマス利活用可能性調査」として業務委託により実施した。 (平成27年12月4日～平成28年3月31日) 業務委託費:3,564,000円  2 調査結果概要 (1)課題 ①山林所有者の意識低下 ②利用間伐が行われていない ③市内に木材の安定した需要先が確保されていない  (2)対策 ①山林所有者の意識改革 ②森林経営計画と特定間伐などの促進計画の推進 ③市民が未利用材を収集できる仕組みづくり ④バイオマス材の活用の体制を構築	森林の多面的機能の発揮や林業の持続的かつ健全な発展を図るため、間伐等の生産コストを減らし、自主的な林業経営を目指すため、林道や作業道等のインフラ整備と、間伐の実施等に伴う財政的な支援が必要である。 今後も、造林事業やひろしまの森づくり事業、林道整備事業等を継続して行うことで、林地残材の活用を検討していく必要がある。	1 取組方針 「間伐材等利用可能性調査」の結果を活用し、同年度から実施している自伐林家養成研修、関連機械整備等とともに、間伐材等の林地残材をバイオマス資源として活用した循環型社会の形成を図る。 (森林所有者自らが伐採、搬出、出荷する「自伐林家」の養成とともに、搬出された木材等を利活用するためのシステム構築を図るため、モデル的な実証試験を行う。)  2 実施内容等 (1)自伐林家養成研修 林業専門の業者に委託し、研修業務を行う。 (2)木質バイオマス活用システム構築実証実験 市内において、森林組合と企業が里山再生モデル事業を行っており、その一環として木の駅プロジェクトも計画されている。 そこで、試験的に一部実証試験として木の集積と間伐材等のペレット化や堆肥化を行い、環境先進都市ビジョンのWプロジェクトで協議して、木質バイオマス資源活用のシステム構築を図る。
10	市民	【団体】 炭作り	1 炭作り見学会 (1)竹炭窯、竹炭の作り方の説明。粃ガラ燻炭作りの説明と実演 (2)見学者が、竹炭を使った工作づくりを体験。 (3)開催場所:北原ファーム (4)対象者(参加人数):13名  2 竹炭作り (1)H26年度の竹炭生産量は68Kgで、H23年からの累計は495Kgとなる。(CO2蓄積量は、1.6トン) (2)開催場所:北原ファーム  3 粃ガラ燻炭作り (1)H27年度の燻炭生産量は5,136Kgで、H23年からの累計は18トン。(CO2蓄積量は、22.5トン) (2)ドラム缶式燻炭機での燻炭作り経験者は、45名。 (3)開催場所:各農家		1 竹炭作り (1)放置竹藪の整備と竹炭作りでCO <sub>2</sub> 蓄積。竹炭を使った工作(竹炭アート)の実施。 (2)開催場所:北原ファーム  2 粃殻燻炭作り (1)7台のドラム式燻炭機を利用し、燻炭作りを展開。土壌改良とCO <sub>2</sub> 蓄積。 (2)開催場所:各農家
11		【個人】 五右衛門風呂へのバイオマスの活用			
12		【個人】 もみがら燻炭作り	1 もみがら燻炭によりCO <sub>2</sub> のうちのCの固定化。  2 田に散布することにより土壌改良、Cの固定化。		1 もみがら燻炭によりCO <sub>2</sub> のうちのCの固定化。  2 田に散布することにより土壌改良、Cの固定化。
13		【個人】 木質ペレットの試験的製造	1 西条山と水の環境機構の活動の一環として、使用済み割り箸や剪定枝を用いて試験的にペレットを製造した。  2 開催場所:憩いの森公園  3 対象者(参加人数):大学関係者、西条山と水の環境機構関係者 4人		バイオマスペレットの試験的製造 (1)西条山と水の環境機構の活動の一環として、使用済み割り箸や剪定枝、藁などの農業残渣を用いて試験的にペレットを製造する。 (2)開催場所:憩いの森公園 (3)対象者(参加人数):大学関係者、西条山と水の環境機構関係者



( 1 4 ) 省エネルギーの推進

【取り組みの方向性(目標)】

①省エネルギー活動の推進

市民一人ひとりがライフスタイルを見直し、日常生活や事業活動における省エネルギー活動を推進することにより、低炭素型社会の実現を目指します。

No.	区分	実施者等	平成27年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性	平成28年度 取り組み予定
1	市	【危機管理課】 防犯灯設置管理業務	1 防犯灯をLED化に取り替えた。 LED防犯灯への取替(2,997基)  2 防犯灯設置工事を行った。 通学路整備事業(20基)及び特定防衛施設周辺整備調整交付金事業(19基)  3 防犯灯設置費補助金を交付した。 地域要望に基づくLED防犯灯設置費補助(52基)	防犯灯設置工事(通学路整備事業及び特定防衛施設周辺整備調整交付金事業)及び防犯灯設置費補助金の交付について、継続して実施する予定。	1 防犯灯設置工事を行う。 通学路整備事業(予定20基)及び特定防衛施設周辺整備調整交付金事業(予定22基) 2 防犯灯設置費補助金を交付する。 地域要望に基づくLED防犯灯設置費補助(予定100基)
2		【教育総務課】 小学校新設事業、小学校大規模改造事業、小学校施設改修事業、中学校大規模改造事業、小学校増改築事業	1 新設事業(新築工事設計)実施設計完了 設計実施校数:1校  2 大規模改造事業(耐震補強工事設計)設計完了 設計実施校数:1校、導入校:志和中	今後も改修工事や新築工事等で積極的に対応していく。	設計に際し便所等へのLED照明の導入を検討 増改築事業(増改築工事設計) 設計実施校数:2校(高美が丘小中一貫校、志和小中一貫校)
3		【消防総務課】 省エネルギー	屋上緑化、LED照明等の使用により、省エネルギー化に努めた。	継続して使用する。	屋上に約100㎡の緑化を行い、また、エネルギー効率の高いLED照明を採用し、空調機器では深夜電力を利用した氷蓄熱や床輻射熱冷暖房設備を採用することにより、省エネルギー化を推進する。
4		【住宅課】 住宅性能表示制度の普及	1 住宅性能表示制度及び省エネルギー型住宅に関する案内パンフレットを窓口に置き情報発信をした。、併せて市HPIに掲載し情報発信を行った。  2 住宅リフォームに関するパンフレットを窓口に置き情報発信を行った。  3 リフォーム事例として、ひろしま住まいづくりコンクール作品のパネル展示を市庁舎にて行った。		1 市民・民間事業者に対し、関連機関などと連携し住宅関係の様々な情報発信を行う。  2 安心・安全な住まい、住環境づくりのため、市民の方々が自らの住宅の質に関心を持ち、工務店等の住宅関連事業者による住宅の質の向上を促すような情報発信を行う。  3 ひろしま住まいづくり支援ネットワークでの活動を行う。
5		【環境対策課】 ライトダウンキャンペーンの後援	ライトダウンキャンペーンを実施した。 主催:ライトダウンin東広島2015実行委員会 日時:平成27年8月8日(土) 18時30分から21時30分まで 開催場所:東広島市立西条小学校グラウンド、屋内運動場 内容:合唱団によるコンサート 広島大学宇宙科学センター教授(仮)による天文・光害の話 天文相談コーナー(仮) グラウンドでの天体観測 参加者:266人	今後も、ライトダウンキャンペーンの後援をしていく予定。	ライトダウンキャンペーンを実施します。 主催:ライトダウンin東広島2016実行委員会 日時:平成28年7～8月に開催予定 開催場所:西条町内の小学校グラウンドを予定 内容:グラウンドでの天体観測 など。その他は調整中。 事前に会場周辺の店舗等に出向き、開催時間帯の不要な消灯の協力を要請する。
6		<H27新規> 【人権推進課】 黒瀬文化会館 空調機修繕 (「新エネ、省エネ先導的モデル実証実験枠」採択事業)	黒瀬文化会館空調機修繕を実施した。 老朽化した既存の空調機(6台)を2015年省エネ基準値クリア商品(5台)に更新、使用電力を7,951kwh/年削減できる見込み 平成27年8月24日契約締結、平成27年9月21日完了		なし
7		<H27新規> 【地域政策課】 御園宇地域センター空調機器更新	空調機器(ガスヒートポンプ)を高効率のものへ更新し、省エネルギー化を進めた。		過去のCO2排出量などと比較して、省エネルギー効果を記録する予定。
8		【管財課】 公共施設の電力使用量抑制	冷暖房の集中管理を行う等、効率的な運用によって、電力使用量を抑制した。	本館1階2階の空調効率を上げ、電気使用料を抑制するために、外気侵入を防止することが課題となっている。	引き続き、電気機器を効率に運用し、電気使用量を縮減しつつ、機器の集約と必要数の見直しを行う。
9		【団体】 簡易水力発電装置の設置	竹仁小学校の玄関前から中庭を流れる水路に「エコピカ」という、簡易水力発電装置を取り付け、竹仁小学校の全校児童に発電の仕組みを説明する学習会も開催した。水の力でモーターを回し、街灯(LED)が明るく灯る自然の力を体感した。		
10	市民	【団体】 バイオマス利用で省エネ！ウッドガスストーブをつくらう	木の枝や松ぼっくりなどのバイオマスを利用して、燃焼させるウッドガスストーブを作るイベントを開催した。 ウッドガスストーブの特徴は、木を燃やす時に発生する可燃性ガスを残さずに燃焼させるため効率がよく熱を発生させることができ、木の蒸し焼きで作られている炭と同じく、燃焼時に煙が発生しないため、煙の臭いで周辺に迷惑をかけることがない。 参加者には親子連れの方が多く、苦労しながらもみんな楽しそうにウッドガスストーブを作っていた。完成したストーブは、上に網を置いて食べ物を焼くこともできるので、最後はみんなで、バナナやマシュマロを焼いて食べた。  省エネルギー普及指導員の新宮原充先生に「省エネと私たちの環境」というタイトルで講話をいただき、省エネについて改めて考える機会となった。これからも、このようなイベントを通して多くの人たちに省エネルギーについて考えてもらえるような機会を作っていきたいと思う。		
11		【個人】 家庭内カーボン・マイナス化の継続的実現	過去3か年間継続して自動車2台、耕運機等の農機具を含む全家庭内年間CO2正味排出量マイナスを達成した。  家庭内カーボン・ニュートラル実現の鍵は、CO2収支の記録とそれに基づく省エネ対策の実践、CO2正味吸収量の増大にあり、多くの一般家庭で実践可能である。開催場所:自宅・東広島市、対象者(参加人数):家族 2人		家庭内正味CO2吸収量増大策の検討  自動車2台、耕運機等の農機具を含む全家庭内年間CO2正味排出量マイナスの継続的実現とCO2正味吸収量の増大を目指す。東広島市家庭部門の2050年カーボン・ニュートラル実現に役立ちたい。 開催場所:自宅・東広島市、対象者(参加人数):家族 2人
12		【団体】 地域でのエネルギー自立を考えるシンポジウムと交流会	パリ会議後の状況と電力改革の課題を理解し、先進事例を参考にして地域の持続的発展のための方策を検討した。 開催場所:東広島市市民文化センター、対象者(参加人数):市民、大学関係者64人		地域でのエネルギー自立を考えるシンポジウムと交流会を行う。 開催場所:東広島市、対象者(参加人数):市民、大学関係者



(15) 低炭素社会形成に寄与する事業の促進・支援

【取り組みの方向性(目標)】

①環境ビジネスや環境に配慮した産業活動の展開

環境ビジネスの起業や環境配慮型の産業活動を展開し、環境負荷の低減や低炭素社会の形成を目指します。

②東広島産環境ビジネスの創出

大学や試験研究機関、先端技術企業等、様々な産業が集積する「国際学術研究都市」としての強みを活かして、独創的・先進的な「東広島産環境ビジネス」の創出を目指します。

No.	区分	実施者等	平成27年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性	平成28年度 取り組み予定
1	市	【産業振興課】 産学金官の連携促進	1 東広島発！ものづくり逸品認定 平成27年7月23日に審査会を開催し、6つの製品を新たに認定した。(環境関連の認定製品はなし。)  2 環境関連製品・技術等開発促進事業 平成27年6月12日に書類審査(継続分)、平成27年6月30日に審査会(一次募集分)、平成27年8月6日に審査会(二次募集分)を開催し、4つの研究開発テーマを交付決定した。(※うち3件、環境関連分野での研究開発テーマとして、交付決定。) (1)交付決定企業:株式会社メセナ 研究開発テーマ:ソーラーパネルを利用し自立稼働を可能とする湖水浄化装置の開発 (2)交付決定企業:エス・エス・アロイ株式会社 研究開発テーマ:高性能小型磁石の量産化に向けた通電焼結プロセスを用いたダイセツ金型の研究開発 (3)交付決定企業:福原産業株式会社 研究開発テーマ:砕石粉を活用したリサイクル砕石(海域環境改善資材)の開発  3 環境関連ビジネスセミナーの開催 セミナー名:攻めの省エネセミナー 日時:平成28年1月29日(金)、開催場所:コラボスクエア会議室、参加者:25人	1 東広島発！ものづくり逸品については、認定製品の効果的なPRの推進に努めていく。  2 産学金官連携の強化を図りながら、市内における新製品等の研究開発を促進していく。	1 東広島発！ものづくり逸品認定 (産学金官連携等によって生まれた優れた製品を認定する。)  2 環境関連製品・技術等開発促進事業 (環境関連及び医療・福祉分野の新製品又は新技術等の開発に係る経費を助成する。)  3 環境関連ビジネスセミナーの開催 (環境関連分野に関心・興味がある企業等を対象にセミナーを開催する。)
2	事業者	【団体】 こだわり米「清流の小田米」を活用した米粉パンの商品開発と販売	地域の企業などと連携し、高い付加価値を生み出す米粉加工や、加工の技術習得などについて取り組み、多くの小田産の米粉パンを提供してきた。また、環境への配慮にも取り組んでおり、土作りでは、近隣の畜産農家と連携し、年間1,500tの牛糞堆肥を使用することで、化学肥料や農薬の使用量が半減した。  化学肥料などの使用が減ると、地域の水質が改善され、地域を流れる小田川ではホタルやカワニナなどが見られるようになった。また、稲わらを畜産農家に提供し、牛糞堆肥を農地に施用することで、炭素を農地に固定化でき、地球温暖化の防止にもつながっている。  今後も、安全・安心な美味しい農産物の生産と小田地域に根ざした事業展開で持続的に地域活性化を図っていく。 (平成24年度 六次産業化法に基づく事業に認定)		
3		【団体】 ミミズコンポスト	家庭から出た生ごみは、汚い・臭いなどと敬遠されがちだが、もともとは私たちの生活に欠かせない栄養分をたくさん含んだ食べ物なので家庭菜園やガーデニング堆肥として利用することができるため、生ごみを少しでも堆肥化(リサイクル)して頂くための手段として環境に優しいミミズを使った生ごみコンポスト容器を開発した。  1 臭わない 2 電気を使わない 3 安くて手頃 4 場所をとらない 5 いつでも処理できる 6 良質な堆肥が出来る  ※6つの特長があり、ゴミの減量にもつながる。 ※当社では、ひがしひろしま環境フェア2015に出展し、「ミミズコンポスト」による生ゴミの減量効果などについてPRした。		
4		【団体】 エコマークの認定	1 自社製品の「SCシルキーコットン」がエコマークの認定を受けた。  2 エコマークとは、(公財)日本環境協会から、環境への負荷が少なく環境保全に役立つと認められた商品につけられる環境ラベルである。  3 繊維部分が綿100%の製品・過酸化水素による酵素漂白綿であって、無塩素で蛍光増白剤を使用していない・製品への化学物質の使用については、基準値を満たしているという認定要件をクリアして認定されている。		
5		【団体】 東広島リサイクルショップ	資源愛護の啓発。ゴミの減量を図る。市民より不用品の提供を受け、一般市民に提供する。 実施開催場所:西条町寺家、対象者:市民		

25



(16) 地域を越えた連携と国際的な協力の推進

- 【取り組みの方向性(目標)】
- ①市内における連携・協働

市内各地での個別の取り組みを、地域や業種の枠組みを越えた連携・協働した取り組みに拡充し、より効果的な取り組みの展開を目指します。

②広島県や近隣自治体等との連携・協働

広島県や隣接市町と連携・協働した取り組みにより、共有する環境の保全や環境に関する共通の課題の解決を目指します。

③国際的な連携・協働

産学官民が連携した積極的な国際協力の取り組みにより、地球温暖化の防止などの地球環境問題の解決に寄与することを目指します。

No.	区分	実施者等	平成27年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性	平成28年度 取り組み予定
1	市	【環境対策課】 環境フェア開催補助	1 開催テーマ 「ひと・まち・自然のハーモニー ～ひがしひろしま環境スタイルの創造～」  2 開催日時、会場 ※第25回東広島市生涯学習フェスティバル及び第17回東広島健康福祉まつりと同時開催 平成27年11月7日(土) 9:30～16:30、11月8日(日) 9:30～16:00 アクアパーク(東広島運動公園)体育館  3 内 容 (1)ステージイベント 『大ちゃんのエコに目覚めるスライドショー～セヴァン＝スズキの伝説のスピーチ～』 他の先進的な自治体の取組みを紹介、東広島市が環境先進都市を目指していくにあたって必要なことについて考える、トークイベントを開催した。 出演者:タレント 大松しんじ 氏、エコネットひがしひろしま 会長 橋野俊子、顧問 薦田直紀 (2)エコ体験・環境学習ブース、エコカー展示ブース 27の団体・事業者が出展。環境に関わる活動に取り組む団体・事業者の活動PR、来場者参加型・体験型のブースを出展。 ①発電体験、燃料電池の模型実演 ②環境配慮型商品の紹介 ③家庭用生ごみ処理機、ミズコンポストの紹介 ④家庭のエコライフ診断 ⑤低公害車(燃料電池自動車、超小型電気自動車、クリーンディーゼル自動車等)の展示  4 来場者数 20,000人(1日目:9,000人、2日目:11,000人)	東広島市環境先進都市ビジョンを実現するため、ビジョンの4つの基本目標を軸にした、市内事業者、大学・学生、研究機関、住民自治協議会、市民活動団体等の多様な主体による環境啓発イベントを開催する。	1 開催趣旨 東広島市環境先進都市ビジョンを実現するため、ビジョンの4つの基本目標を軸にした、市内事業者、大学・学生、研究機関、住民自治協議会、市民活動団体等の多様な主体による環境啓発イベントを開催する。  2 開催時期 平成28年7月23日(土)  3 会場 西条中央公園グラウンド
2		【廃棄物対策課】 ごみ減量化及び資源化の推進	広島中央環境衛生組合管内での連絡調整 東広島市、竹原市、大崎上島町の2市1町が連携して、今後のごみの減量施策等について協議しました。	ごみ排出量は増加傾向、資源化率は低下傾向にある。	広島中央環境衛生組合管内での連絡調整 東広島市、竹原市、大崎上島町の2市1町が連携して、今後のごみの減量施策等について協議する。
3		【企画課】 国際化推進事業	1 中南米地域を対象とした「排水処理技術」コースを、平成27年9月7日～10月31日までの54日間に渡り実施  2 研修員は、アルゼンチン、ボリビア、コスタリカ、エクアドル、グアテマラ、パナマ、ペルーの7ヶ国から9名が参加  3 大学、企業、地域住民のほか、本市関係部局(下水道部、生活環境部、教育委員会)等の協力のもと、講義や施設見学を通して様々な処理技術を学んだほか、住民活動や環境教育についての科目もあり、研修員から高い評価を得た。  4 研修員は、研修中に成果物として、自国又は所属組織の抱える課題解決に有益であると思われる内容をまとめ、所属組織へ伝えるためのアクションプランを作成しており、帰国後、アクションプランを活用して自国において普及活動を行った。	1 国際協力の必要性について共通の認識を持つ必要がある。  2 JICA内で帰国研修員の活動に対しフォローアップの体制を構築する必要があるとともに、実施機関に対してフィードバックが求められる。	1 「排水処理技術」コースを3か年計画で更新し、平成28年度は1期目を実施予定  2 中南米地域で排水処理施設の計画、運転、維持管理を所掌する中央、地方政府もしくは関連公共団体において、処理施設の管理・運営を担当する部署に所属している技術者を対象とした、排水処理技術に係る研修を実施する。  3 日本における排水処理の制度及び技術に関する講義や施設の見学を通じて、自国の状況に適した排水処理対策を立案・実施するために必要な知識・技術の習得を支援する。また、それらの知識・技術が自国において共有されるよう、研修で習得した知識・技術を踏まえ、自国の下水道等排水処理システムの改善に向けたアクションプラン(業務改善提案書)を作成し、自国で普及させることを目的として実施する。
4	市民	【団体】 国際ボランティアCIEE(国際教育交換協議会)との交流	地域住民と学生が協働で企画運営をして、8月に、広島大学の学生7人、国際ボランティアCIEEによる留学生4人、地域外の小学生6人が集まり、河内の自然に触れ合う二泊三日の合宿を開催した。  参加者は、大道山の竹炭工房での竹炭作り、陽だまり農園での農作業などを体験した、最初は戸惑いながらも、慣れてくると楽しみながら作業してくれた。子どもたちは自然に囲まれて元気にのびのびと、留学生は日本の原風景に感激している様子で、終始夢中になって作業してくれた。短い期間でしたが、参加者はいろいろな体験をして、河内町を満喫して帰ってくれた。河内町の自然や全党的な日本文化を生かした、豊かな合宿となった。		
5		【団体】 クリーン太田川	地域内一斉清掃。みんなで守ろうふるさとの川。 開催場所:東川・半川・関川、対象者(参加人数):300人		
6		【団体】 福富町まちおこし	市の職員の方から、「福富町のアイガモ農法の農家の方が『久芳小学校でのアイガモ農法の米作り』の人手が足りないので、手伝ってくれる学生を探している」との話をいただいたことがきっかけで平成27年3月に立ち上げられた。  アイガモを使った農業は、アイガモが田んぼの中の害虫を食べてくれたり、アイガモのフンが稲の肥料となったりと、環境にやさしい農法で、福富町の久芳小学校では以前から行われていた。  私たちは、「アイガモ農法の米作り」どころか、米作り自体が初めてのメンバーが多かったため、慣れない作業に最初は戸惑いもありましたが、子ども達と田んぼの草刈り、みんなで横一列に並んでの田植え、収穫した稲の脱穀作業など、福富町の方々に教わりながら、楽しく作業することができた。福富町の皆さんは、私たちを笑顔で受け入れてくださった。  福富町には長閑な田園風景、ゆっくりと流れる美しい川の水、そして、おいしい食べ物がいっぱいあることも、私たちが福富町に魅力を感じ、活動を続けている理由の一つである。これからも、まちおこしを通じて、福富町の豊かな自然を守るお手伝いができればと思っている。 ※この活動には、市が交付する「市民協働のまちづくり活動応援補助金」が活用されている		



(17) 学校・家庭・地域などでの環境教育・環境学習の推進

- 【取り組みの方向性(目標)】
- ①あらゆる世代の環境教育・環境学習の推進

学校や家庭、事業所、地域における環境教育・環境学習を推進し、環境に配慮したライフスタイルや事業活動があたりまえのこととして実践される社会の形成を目指します。
- ②環境教育・環境学習に関わる人材の育成

環境教育・環境学習を支え、地域の環境保全活動のリーダーとなる人材の育成を目指します。

No.	区分	実施者等	平成27年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性	平成28年度 取り組み予定
1	市	【環境対策課】 環境教育の推進、省エネルギーの推進	1 出前講座 小学校1校、中学校1校、高等学校1校、自治協議会1地区、小学校PTA1校の5団体にて、出前講座を実施した。 2 小中学生を対象にしたポスターコンクール 応募数:小学校部門122点(14校)、中学校部門22点(2校) 計144点 市長表彰:市長賞各部門1点、優秀賞各部門2点、入選各部門7点、エコネット表彰:優秀賞各部門3点 3 緑のカーテンコンテスト 応募数:個人12点、事業者1点、公共施設1点 計14点 ※公共施設は地域の自治協議会が参加 市長表彰:最優秀賞1点、優秀賞2点、エコネット表彰:エコネット大賞1点、エコネット賞2点 4 公共施設緑のカーテン推進 設置数・・・57施設 5 省エネチャレンジコンテスト 夏の陣:コンテスト応募者数:省エネアイデア部門8名(表彰1名)、節電チャレンジ部門9名(表彰1名) 冬の陣:コンテスト応募者数:省エネアイデア部門12名(表彰1名)、節電チャレンジ部門38名(表彰3名)	環境教育の推進や啓発、人材育成という目標達成のため、より効果的な事業展開が望まれる。	1 出前講座の実施 一般市民や小・中・高校生を対象に、環境教育に関する講座を実施する。  2 小中学生を対象にしたポスターコンクール 小中学生の地球温暖化対策に関する意識の向上を図るため、エコネットひがしひろしまと共催し「未来の環境先進都市ひがしろしま」をテーマとしたポスターコンクールを実施する。  3 緑のカーテン 「緑のカーテン」を市民に推進するため、希望する市民に対し緑のカーテンの取組みに必要な器材を配布し、各家庭で主体的に環境保全活動に取り組む機会を提供する。  4 公共施設緑のカーテン推進 市の施設に緑のカーテン資材を配布し、市民への普及啓発につなげる。
2		【指導課】 環境教育・環境学習の推進	エネルギー総合研究所が開催する日常生活に欠かすことのできないエネルギーや地球環境問題について小学生を対象にした「わくわく Eスクール」「環境エネルギー教室」の案内を通知した。「わくわくEスクール」には、市内小学校11校(出前講座を含む)が参加し、また、「環境エネルギー教室」は市内小学校5校が参加した。  中学校においても、環境エネルギー問題に対応した講座について案内を通知した。中学校の参加校は職場体験等を含め3校が参加した。  水辺の生物やきれいな水環境を守る実践を広く募集する環境省主催の「こどもホタレンジャー」の募集について通知し、豊栄小学校が応募し、環境大臣賞を受賞した。  環境についての理解を深める体験プログラムや環境教育等の案内を通知することで、各学校において積極的に環境教育を推進することができた。		環境教育等の案内を通知し、環境教育・環境学習を積極的に推進する。
3		【指導課】 体験型環境教育の実施	小学校33校が実施した「山・海・島」体験活動において、いつもと違う生活環境の場において、見聞を広め、自然に親しむことができました。自然体験(生物観察、星空観察)をプログラムに取り入れた学校は23校にのぼり、集団宿泊活動において、自然とつながる体験を活動に取り入れることで、環境教育を実践することができた。  社会見学や修学旅行の校外学習を活用したり、エネルギー総合研究所や東広島浄化センター等を活用した体験型環境教育を行う学校があった。		「山・海・島」体験活動において、自然観察等を行う。今年度は小学校30校、主に第5学年が3泊4日以上 の自然体験などの様々な体験活動を伴う集団宿泊活動事業を実施。  自然体験(生物観察、星空観察)を27校の小学校が計画しています。事業を活用して、日頃生活している環境とは異なる場所で生活することを通して、その地域のよさを感じる。
4		【指導課】 プログラムの提供	平成27年10月29日(木)に、東広島ESD研究会、広島大学教育学研究科主催で「東広島ESD研究会」が実施された。参加者は学校関係者、大学関係者合わせて100名を超えた。  吉川小学校及び志和中学校、賀茂高等学校のESDの取り組みが発表された。また、海外の高等学校の取り組みも紹介され、ESDの取り組みについて広く普及・推進を図ることができた。  夏季の電力需給対策及び省エネルギー対策について学校に通知することで、学校と家庭が連携して省エネルギーを目指すことができた。  「子ども環境白書2015」を小学校に1冊ずつ配付し、環境への関心を高めるプログラムを提供した。		小学校、中学校、高等学校、広島大学が持続可能な社会の構築を目指し、地域のESDの普及・推進を目的に、12月(予定)に広島大学ユネスコスクール主催「広島大学ユネスココンソーシアムESD研修会」を実施し、ESDの取り組みの実践を交流することで、地域のESDの推進を図る。  保護者と児童・生徒が家庭において実践できるプログラムを小・中学校に提供していく。
5		【環境対策課】 東広島市の環境(環境白書)作成業務	市内の大气・水質などの環境観測データを取りまとめた冊子「東広島市の環境(環境白書)」を作成し、図書館やHP等で市民向けに公表した。	幅広い世代が手に取りやすい内容に年々改良していく。	平成27年度の環境観測データを取りまとめたものを作成し公表する。
6		<H28新規> 【環境対策課】 東広島市の環境(環境白書)DVD作成業務		学校の授業で使いやすいようなDVDの作成を目指す。	平成27年度までは、冊子を作成して学校や図書館などに配付し、市ホームページに掲載していたが、この冊子が環境学習の教材として学校等で活用されることがほとんどなかったため、学校の授業でも活用しやすいよう、パワーポイント形式の電子データを作成したものをDVDに収録して、学校等へ配布する。
7		【環境対策課】 環境リーダー育成	市内の環境活動事例や環境リーダーの情報を収集した冊子を作成し、それを各自治協へ配布した。作成・配布時期が年度末だったため、冊子を活用した環境リーダーと地域のアドプトは平成28年度に取り組み、地域の環境問題の解決と、環境リーダーの育成の両立を目指している。  本市や広島県が設けている環境活動に使える補助制度等のリストを住民自治協議会へ配布し、市のHPIに掲載した。	引き続き環境リーダーの発掘を行い、より多くの地域で環境活動が広まるように取り組んで行く。	平成27年度に情報収集した環境リーダーの活用を住民自治協議会や地域センターなどへ促し、環境リーダーによる環境学習をより多く開催することを目指す。  平成28年度も市内の環境活動や環境リーダーを紹介する「東広島市の環境活動」を作成し、住民自治協議会や学校などに配付し、地域や学校の環境活動の活性化に繋がるように取り組んでいく。



No.	区分	実施者等	平成27年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性	平成28年度 取り組み予定
8	市民	【団体】 環境学習への参加	東広島市役所へ出前講座を依頼し、「台所から始める、エコライフ」と題した環境学習を開催、59人が参加した。  「エコライフ」とは、地球に負担の少ない生活をする事で、講座では「ゴミ問題について」と、「地域の川の水をきれいにすること」の2つのテーマについてお話を聞いた。  講座に参加して、ゴミ出しや台所・洗濯・お風呂の生活排水などの私たちの生活が地球に負担をかけていることを認識するとともに、ゴミの分別や減量化に取り組む必要性や、造賀川を清流として維持するにはどうしたら良いか学んだ。参加者からは、「台所から洗濯まで水回りを管理する私たちの意識や心がけの大切さを痛感した」、「未来の子ども達のためにもゴミを減量して良い環境を維持したい」などという声が聞かれ、改めて地域の環境について考えるきっかけとなった。		
9		【団体】 えひめAI環境学習	ヨーグルトや納豆などの食物から、水の浄化や消臭などの効果がある環境浄化微生物「えひめAI」を作る環境学習を開催した。		
10		【団体】 国の特別天然記念物オオサンショウウオを通じた環境教育の推進	1 4年生児童を対象に、平成26年度から豊栄町内に生息する国の特別天然記念物オオサンショウウオを通じた環境学習を開催しており、学校・保護団体・事業者が参加し、学習を進めている。 (1)学習内容 川に入り、水中の生物や水質の保全について学習しました。オオサンショウウオと実際に触れ合うこともでき、貴重な体験となった。講師には「東広島オオサンショウウオの会」の一員である広島大学総合博物館の清水則雄先生を招き、授業をして頂いた。また、会のメンバーの方々が、児童が川に入るサポートをしてくれています。学校からオオサンショウウオの生息地までの移動手段としては、豊栄町内に本社があるサンヨーコーポレーション様のご厚意により、バスをご用意して頂いた。 (2)これまでの成果 平成26年度には「第11回 日本オオサンショウウオの会 東広島大会」が豊栄町で開催され、児童が口頭発表を行った。豊栄のオオサンショウウオについて、「学んだこと」「私たちにできること」を参加者に発表した。校内の学習発表会でも、保護者や地域の方々に向け発表を行った。平成27年度も引き続き学習を行っており、今年は他の生息地との比較などを行い、保全のため、自分たちにできることを考えている。本学習を通じて、児童に「オオサンショウウオは豊栄が世界に誇る宝物だ」という感覚が生まれており、またそのような「宝物」がすんでいる自分たちの故郷を誇りに思う気持ちが育まれていると感じている。	豊栄は県内外でも数少ないオオサンショウウオの自然繁殖地であることが、平成27年度の学習を通じてわかりました。  オオサンショウウオが繁殖できる環境を地域で保全するため、地域の方々へ本地域の特性をお知らせするなどして、地域と運動した活動にしていきたいと考えている。  毎年少しずつステップアップができるよう、学習を深化・継続していくつもりである。	国の特別天然記念物オオサンショウウオの現状を把握し、保全に向けた活動を推進する環境教育の普及活動を小学校や観察会、展示を通じて実施。 開催場所：東広島市豊栄町
11		【団体会員】 WS;「総科21世紀科学P群・資源エネルギー研究」の未来－エネルギー自立社会に向けて大学は地域社会に如何に貢献ができるか	エネルギー自立社会に向けた大学の役割に関心のある大学内外の人たちが集まり、課題と可能性を検討した。 開催場所：広島大学総合科学部K305講義室、対象者（参加人数）：市民、大学関係者 約30人		
12		【個人会員】 小学生総合学習	1 西条小学校4年生総合学習 総合学習の時間に水についての授業と実験を行った他、龍王山での体験学習を行った。 開催場所：東広島市西条小学校、対象者（参加人数）：東広島市西条小学校の生徒（約160名）  2 豊栄小学校5年生総合学習 総合学習の時間に水についての授業と実験を行った。 開催場所：東広島市豊栄小学校、対象者（参加人数）：東広島市豊栄小学校の生徒（約20名）  3 三ツ城小学校5年生総合学習 総合学習の時間に水についての授業と実験を行った。 開催場所：東広島市三ツ城小学校、対象者（参加人数）：東広島市三ツ城小学校の生徒（約160名）		1 西条小学校4年生総合学習 総合学習の時間に水についての授業と実験を行う他、龍王山での体験学習を行う。 開催場所：西条小学校、対象者（参加人数）：西条小学校の生徒（約160名）  2 三ツ城小学校5年生総合学習 総合学習の時間に水についての授業と実験を行う。 開催場所：三ツ城小学校、対象者（参加人数）：三ツ城小学校の生徒（約160名）
13		【団体会員】 匠の枝	大工さんの指導で本立てを作り、出来上がった本立ては、小学校の図書館に寄付した。 開催場所：乃美尾小学校工作室、対象者（参加人数）：児童22名		第6回匠の枝（大工さんの指導で工作作り） 開催場所：乃美尾小学校、対象者（参加人数）：児童
14		【団体会員】 保光川ハウマッチ	児童を中心に、水・ゴミを考え、魚とり。地産食材の軽食。広島大学の「カップのおうち」の皆さんによる「水・生き物・ゴミ」のミニ講演。 開催場所：乃美尾ふれあい館、対象者（参加人数）：親子連れ等30名 ※雨天のため魚とり中止。		第10回保光川ハウマッチ 広島生による「水の話」ミニ講演。保光川までのゴミ拾いや保光川で魚釣り。地産食材の軽食。 開催場所：乃美尾ふれあい館、保光川、対象者（参加人数）：児童



No.	区分	実施者等	平成27年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性	平成28年度 取り組み予定
15	市民	【団体会員】 乃美尾用水路見学	小学生17名、先生・土地改良区の人達7名で、用水路ができた経緯、ゲートの仕組みなど説明、現地見学した。 開催場所：乃美尾用水路、土地改良碑、井堰、対象者（参加人数）：小学5年生		
16		【団体会員】 蛍籠作り講座	三ツ城コミュニティからの依頼で、麦わらを使った蛍籠作りの出前講座を行った。※来年度の依頼もあり。 開催場所：三ツ城コミュニティ、対象者（参加人数）：12名		三ツ城コミュニティ蛍籠作り講座 一般市民に「麦わらを使った蛍籠作り講座」の募集。エコINNくろせから指導員を派遣。 開催場所：三ツ城コミュニティ、対象者（参加人数）：一般市民20名程度
17		【団体会員】 第14回水のグラウンドワーク	西条の水についての講習・実験・きき水体験、源流探訪、川の浄化用木炭の入れ替え作業、川の水生生物の採集とモニタリングを行った。 開催日：7月26日 開催開催場所：憩いの森公園、対象者（参加人数）：みどりの少年団、西条農業高校生83人＋スタッフ36人		第15回水のグラウンドワーク 西条の水についての講習、源流探訪＆きき水、水質浄化実験用木炭の入れ替え、水生生物の調査。 開催開催場所：憩いの森公園 参加者：東広島みどりの少年団小学4～6年生、西条農業高校、広島大学生等
18		【団体会員】 ひろしま森づくり安全学校 東広島市・憩いの森教室 共催（研修会・審査会の運営協力）	1 座学：安全な作業活動について 2 実技：指さし確認、受け口づくり、追い口切り、クサビ・ロープの使用、伐倒、材の安定確認、枝払い、玉切り 開催場所：東広島市憩いの森公園、対象者（参加人数）：西条・山と水の環境機構、その他ボランティア延11人		1 座学：安全な作業活動について 2 実技：指さし確認、受け口づくり、追い口切り、クサビ・ロープの使用、伐倒、材の安定確認、枝払い、玉切り 開催場所：憩いの森公園 対象者（参加人数）：森林ボランティア初心者10人以内
19		【個人会員】 第14回水のグラウンドワーク	西条山と水の環境機構の水部門担当として講座をコーディネートし、講師も行った。 開催場所：憩いの森公園、対象者（参加人数）：みどりの少年団、西条農業高校生（約80名）		第15回水のグラウンドワーク 西条山と水の環境機構の水部門担当として講座をコーディネートし、講師も行う。 開催場所：憩いの森公園、対象者（参加人数）：みどりの少年団、西条農業高校生（約80名）
20		【個人会員】 広島大学附属高等学校 ESD実習	「フェアトレード」について、模擬販売や「貿易ゲーム」を体験しながら学んだ。 開催開催場所：広島大学附属高等学校、参加者数：広島大学附属高等学校2年生 約25名		
21	事業者	【団体】 国の特別天然記念物オオサンショウウオの現状を把握し、保全に向けた活動を推進する環境教育の普及活動を小学校や観察会、展示を通じて実施した。 開催場所：東広島市豊栄町、対象者（参加人数）：豊栄小学校4年生（16名）	国の特別天然記念物オオサンショウウオの現状を把握し、保全に向けた活動を推進する環境教育の普及活動を小学校や観察会、展示を通じて実施した。		国の特別天然記念物オオサンショウウオの現状を把握し、保全に向けた活動を推進する環境教育の普及活動を小学校や観察会、展示を通じて実施する。 開催場所：東広島市豊栄町
22		【団体会員】 里山のたからもの オオサンショウウオの謎を探る！	国の特別天然記念物オオサンショウウオの現状を把握し、保全に向けた活動を推進する環境教育の普及活動を講演会と野外観察会を通じて実施した 開催場所：東広島市豊栄町、対象者（参加人数）：緑の少年団（80名）		

(18) 利用しやすい環境情報の整備と発信

【取り組みの方向性(目標)】

- ①環境情報の収集・共有
- 東広島市の環境に関する情報はもとより、国内外の環境情報など、環境保全活動等の参考となる各種環境情報を収集し、子供から大人まで誰もが情報を共有できるような社会を目指します。
- ②環境情報の発信・交流

No.	区分	実施者等	平成27年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性	平成28年度 取り組み予定
1	市	【環境対策課】 東広島市の環境活動(環境活動事例集)作成業務	市内で行われている、先進的な環境活動事例を取りまとめた冊子「東広島市の環境活動 平成27年版」を作成し、市のホームページに掲載したり、各住民自治協議会や学校などに配付し、それぞれの環境活動の参考にしてもらった。	これまで収集できてなかった環境活動情報についても地域へ出向くなどして収集し、より多くの環境活動情報を市民に向けて発信していく。	市内で行われた環境活動事例を取りまとめた冊子「東広島市の環境活動」を作成。市のホームページに掲載する。多くの市民の方に環境活動の参考にしてもらうために各住民自治協議会や学校などへ配布する。
2		【環境対策課】 東広島市の環境(環境白書)作成業務	市内の大気・水質などの環境観測データを取りまとめた冊子「東広島市の環境(環境白書)」を作成し、図書館やHP等で市民向けに公表した。	幅広い世代が手に取りやすい内容に年々改良していく。	平成27年度の環境観測データを取りまとめたものを作成し公表する。
3		<H28新規> 【環境対策課】 東広島市の環境(環境白書)DVD作成業務		学校の授業で使いやすいようなDVDの作成を目指す。	平成27年度までは、冊子を作成して学校や図書館などに配付し、市ホームページに掲載していたが、この冊子が環境学習の教材として学校等で活用されることがほとんどなかったため、学校の授業でも活用しやすいよう、パワーポイント形式の電子データを作成したものをDVDに収録して、学校等へ配布する。
4	市民	【団体】 住民自治協議会ホームページ	協議会独自のホームページを立ち上げ、地域のイベント案内や活動報告、小谷地区の施設、名所の案内などを掲載。  様々な部会の活動を掲載していて、環境保全に関わる活動としては「大丸目山遊歩道の補修整備」、省エネ体験を行った「ゆーすふるサンデー活動」なども掲載。環境部会をはじめ、様々な部会の活動情報などを発信し地域内外の方々に小谷の魅力を発信していきたいと考えている。		
5		【団体】 ホームページによる活動情報の発信	エコネットひがしひろしまのホームページでは、エコネットひがしひろしま会員の活動状況を見ることができる。ウェブサイトの利便性を改善するため、定期的に会議を開催し、ホームページをリニューアルしている。		
6		【団体】 環境フェア出展「環境を大切に する広大・総科の多彩な研究」	土砂災害と防災、水循環と水資源、環境問題と住民運動・まちづくり、水素エネルギー、木質バイオマスとエネルギー自立など、東広島と関わり、環境を大切にする多彩な研究を行っている広島大学総合科学研究科所属研究者の研究の一部を紹介した。 開催場所:東広島運動公園体育館、対象者(参加人数):市民、大学関係者 約35人		環境フェア出展 広島大学総合科学研究科の市内での環境関係の活動を紹介する。 開催場所:東広島市運動公園、対象者(参加人数):市民、大学関係者
7		【団体】 日本環境学会 第42回(2016 年)研究発表会で発表			「地域におけるエネルギー自立の課題と可能性ー東広島市を例にして(2)ー」の 題目で講演する。 開催場所:東京都市大学、対象者(参加人数):研究発表会参加者
8		【団体】 エコINNくろせ活動冊子の作成	活動実績を写真入りで説明した冊子を作成し、会員等に配布した。 配布先:会員等100～130名		
9		【団体】 イベント出展	黒瀬健康福祉祭り、生涯学習フェスティバル、脱温暖化フェアのイベントでエコINNくろせの活動紹介、蛍籠作りコーナー、竹炭アート作りコーナー、家庭の省エネ診断コーナー等のブースを設置した。 開催場所:黒瀬生涯学習センター、東広島運動公園、産業会館西館		各種イベントへの出展 エコINNくろせの活動PRと温暖化への啓蒙啓発を実施。
10		【個人】 呉市公衆衛生推進協議会 環境講演会「私たちのゴミと世界の繋がり」	ごみについて講演を行った。 対象者(参加人数):呉市公衆衛生推進員(約500名)、開催場所:呉市		



( 1 9 ) 環境保全活動への参加促進と取り組みの支援

【取り組みの方向性(目標)】

- ①環境保全活動への参加促進の仕組みづくり  
気軽に楽しく、継続的に環境保全活動に参加できるような仕組みやプログラムの充実を目指します。
- ②環境保全活動への支援  
環境保全活動の立ち上げや、既存の活動への支援の充実を目指します。

No.	区分	実施者等	平成27年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性	平成28年度 取り組み予定
1	市	<H27新規> 【環境対策課】 えひめAI推進事業	1 「えひめAI」環境学習の開催 東広島市公衆衛生推進協議会福富支部や市福富支所と連携して、「えひめAI」環境学習を10回開催した。  2 市ホームページへ「えひめAI」に関する情報の掲載 市のホームページへ「えひめAI」の作り方や効果などの情報を掲載した。  ※えひめAIとは ヨーグルトや納豆などの食品から作る環境浄化微生物。水質浄化や消臭の効果があるとされている。愛媛県で開発され、四国地方を中心に普及している。食物から作るので、子どもでも安心して使用することができる。	平成27年度にも「えひめAI」の環境学習を開催したが、これまであまり開催実績がなかった地域でも「えひめAI」を普及させたいと考えている。	1 「えひめAI」環境学習の開催 東広島市公衆衛生推進協議会福富支部や市福富支所と連携し、市内10か所において、「えひめAI」環境学習を開催する。 環境学習を開催した地域や学校には、環境学習後も「えひめAI」を継続して使用してもらえるように、配布用の「えひめAI」を500mlのペットボトルに小分けにして無料で提供する。また、えひめAIの作り方や効果を示したパネルも設置する。  2 「えひめAI」モデル地区での実験 環境学習を行う10か所のうち、1か所をモデル地区に選定し、同じ河川(水路)流域のまとまった集落に対して「えひめAI」の継続した使用を依頼する。 「えひめAI」の使用前後の水質の変化を調査し、「えひめAI」の効果を把握する。
2	市民	【団体】 えひめAI環境学習	ヨーグルト、納豆、砂糖などを材料とした環境にやさしい微生物「えひめAI」の作り方や使い方を学ぶ環境学習を開催している。 「えひめAI」に含まれる乳酸菌・納豆菌・酵母菌の微生物には、生活排水などに含まれる汚れを分解する力があり、使用する家庭や事業所が増えたと下水管や川の水がきれいになると言われている。  「えひめAI」は食品から作る子どもにも安心して使ってもらえるものなのでこれまでの環境学習には多くの親子の方も参加してくれた。  「えひめAI」には、水をきれいにする他に、「生ゴミなどの消臭」や「家庭菜園などの肥料や虫よけ」などの効果もあり、親子でいろいろな場面で活用していただける。参加者からは、「水まわりのヌメリや臭いが気にならなくなった!」、「植物が丈夫になった!」などの声が聞かれ、好評。	今後も、大人と子どもが一緒になって取り組めるこのような環境学習を広め、環境を守る意識を高めてもらうとともに、地域の環境リーダーの育成にも努めていきたいと考えている。	
3		【団体】 半尾川再生プロジェクト	今年度、新たに「半尾川再生プロジェクト」を始動させた。このプロジェクトは、龍王山から西条市街地を流れる半尾川を拠点とした環境啓発活動を実施し、ホテル舞う酒蔵通りを実現しようというもの。  半尾川の現状を把握するため、半尾川の川岸を憩いの森公園付近の上流から西条の街中まで歩いて調査し、その後、会場を移して、ワークショップ形式で「半尾川の再生」に必要な事柄を考えた。	どんどん姿を変えていく西条の町と豊かな地下水を生み出してくれる龍王山をつなぐ「半尾川」を再生するプロジェクトを、今後も続けていく。	
4		【団体】 水辺教室	環境カウンセラーの保光先生を迎えて、河内小学校全児童を対象とした水辺教室を開催した。  この水辺教室は今年で10年目になる。この教室では、児童が地域を流れる棕梨川に入って、川の流速や透明度を調べたり、棕梨川に住む水生生物の採集などを行った。川に入った子供たちは、魚やエビなどを見つけて大喜び。採集した生物を種類ごとに分けると、棕梨川には、サワガニやヘビトンボなどのきれいな水に住む生き物が多いことがわかり、棕梨川は水がきれいな川であることを学んでもらった。子供たちには、これからも地域のきれいな川を守ってもらいたいと願っている。		
5		【団体】 冬の水辺教室	将来を担う青少年とその保護者約50人を対象に、黒瀬水質管理センターの施設見学や、黒瀬川の野鳥観察を実施した。  この教室は、地域を流れる黒瀬川の再認識や、環境保全に対する意識を深めてもらうことを目的としている。施設見学では、家庭から出される汚水の処理方法の仕組みなどについて学び、野鳥観察では黒瀬川にやって来る鳥たちを、専門家の先生方の説明を受けながら、望遠鏡で観察してもらった。  参加者には、私たちの生活とは切り離せない水について、いつもとは違う視点で考えてもらう機会になった。		
6		【団体】 自然と遊ぼう! 自然を食べよう!	高美ヶ丘公園や高美ヶ丘団地内の協働農園で、小学3～6年生向けに自然に触れあう講座を開催した。本年度の参加者は12人で、年間通して5回開催した。  この講座では、実際に山に入って、食べられる植物、薬草や染料として使える植物、毒のある植物などについて学んでもらった。ただ植物を見るだけではなく、それを子ども達にスケッチしてもらうことで、より記憶に残るよう工夫した。食べられる植物は採って帰り、ナツハゼでジャムを作ったり、どんぐりパンやむかごごはんを作ったり、山菜の天ぷらを作ったりもした。どんぐりについて勉強した回では、どんぐりを拾うだけでなく、日本には約20種類のどんぐりがあることや、そのうちそのまま食することができるのは5種類だけということなど、それぞれの回ごとに1つのテーマを掘り下げて学んでもらった。  ただ体験するだけではなく、自然について「学ぶ」ことを重視している講座である。		
7		【団体】 沼田川体験	すいすい倶楽部は川遊びが大好きな大人が結成したグループで、沼田川の水が水道用水として利用されている下流(三原市・愛媛県上島町)の町と交流をしながら地域の活性化を推進することを目的としたグループである。  毎年3月には下流域の住民と一緒に道の駅「湖畔の里福富」の近くで植林交流会を行っている。活動の一つに小学生との交流もあり、地元の竹仁小学校30人の子ども達と沼田川探検を行った。この体験では、子ども達と一緒に川に入って、川に住む生き物を捕まえたり、捕った生き物を観察するなどの体験をし、地元の川にはどのような生き物が住んでいるのか知ってもらい、この体験を通して、子ども達には河川環境について学んでほしいと考えている。  普段、川で遊ぶことが無い子供たちは毎年、楽しみにしてくれているようである。私たちも、子供たちと一緒に魚捕りに夢中になってしまう。	いつまでもきれいな沼田川を守って行ける地域であるように、これからも続けていきたい活動である。	



No.	区分	実施者等	平成27年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性	平成28年度 取り組み予定
8	市民	【団体】 ゆーすふるサンデー活動(省エネ体験)	ゆーすふるサンデー活動の一環として大人子供たちあわせて60名が省エネ体験を行った。  省エネ講義を受講した後、めいめいが思い々のLEDによるスタンド作りに挑戦した。この後自慢の照明スタンドを使うたびに省エネへの努力が一層強まるのではないかと。その後、竹原栽培漁業センター・太陽光発電等施設の見学を行った。		
9		【個人】 環境問題研修会	ごみについて、地域でできることについて考えてもらうための講演を行った。 開催場所:寺西公民館、対象者(参加人数):寺西女性会・まちづくり推進協議会(約50名)		依頼された内容に応じて講演を行う。 開催場所:寺西公民館、対象者(参加人数):寺西女性会・まちづくり推進協議会(約50名)
10		【個人】 エコネット若者ミーティング	東広島市の産官学民の若者のネットワークを作り、東広島市のより活気のある街作りに貢献するために、ミーティングを開催した。 開催場所:ちゅうしん蔵、対象者(参加人数):東広島市の産官学民の若者16名		エコネット若者ミーティング 東広島市の産官学民の若者のネットワークを作り、東広島市のより活気のある街作りに貢献するために、ミーティングを開催する。 開催場所:飲食店、対象者(参加人数):東広島市の産官学民の若者16名
11		【個人】 東広島市のごみを考える市民の会設立総会	東広島市の廃棄物処理における問題点を考え、行政とともに改善していくための体制を整えるため、意見交換会を開催した。 開催場所:泉ホール、対象者(参加人数):一般(約50名)	行政と一緒に考える姿勢を見せてくれないと、そもそも話が進まない。住民との意見交換に応じてもらいたい。	1 東広島市のごみを考える市民の会 東広島市の廃棄物処理における問題点を考え、行政とともに改善していくため、意見交換会を開催する。 対象者(参加人数):一般(約50名)  2 家庭ごみの排出量削減策の検討 有効な家庭ごみ排出量削減策を検討する目的で昨年10月から自宅の種別ごみ排出量を記録し始めた。記録を最低1年間は継続し、それをもとに有効な家庭ごみ排出量削減策を提案したい。 開催場所:自宅、対象者(参加人数):東広島市のごみを考える市民の会
12		【団体】 エコ講演会	エコ講演会を開催し、黒瀬高等学校の生徒たちも参加してくれた。 演題:私たちの暮らしと地球温暖化、講師:広島工業大学 清田誠義教授 開催場所:黒瀬生涯学習センター、対象者(参加人数):45名		1 第17回エコ講演会 地球温暖化、省エネに関する講演 開催場所:黒瀬生涯学習センター、対象者(参加人数):45名  2 10周年記念講演会 演題:地球温暖化の現状と将来予想 講師:NHKひろしま気象予報士 勝丸恭子さん 開催場所:黒瀬生涯学習センター、対象者(参加人数):一般
13		【団体】 環境の日	広島修道大学とともに県主催イベントに参加。環境紙芝居、牛乳パックを使ったぶんぶんコマ作り、環境展示などを行った。 開催場所:広島県庁前	環境教育の一環として行ったブース展示が、複雑で子どもたちが興味を示さなかった。	環境の日 広島修道大学とともに県主催イベントに参加。環境紙芝居、牛乳パックを使ったぶんぶんコマ作り、環境展示などを行う。 開催場所:広島県庁前
14	事業者	【事業者】 苗木の植樹や間伐による森林整備活動	民間企業や地元住民が行う森林整備活動に参加し、植樹・間伐作業指導を行った。 開催場所:長寿の森(八本松町吉川)、対象者(参加人数):民間企業、地元住民等、開催日:年間2回		